

R-18
ADULT ONLY

姫騎士 エアリア の

受難

PRESENTED BY

聖華快樂書店

STORY BY エルトリア

ART BY くまっこ COVER ILLUSTRATION ユキはる



王国第三の都市サードレが
淫魔に襲われている
という報告が王都に齎され
レイスヴァイン王国は
王立騎士団に出動を命じた

しかし、アリシア・フォン・レイスヴァイン王女率いる
王立騎士団がサードレに到着したときには、すでに――

伝令！

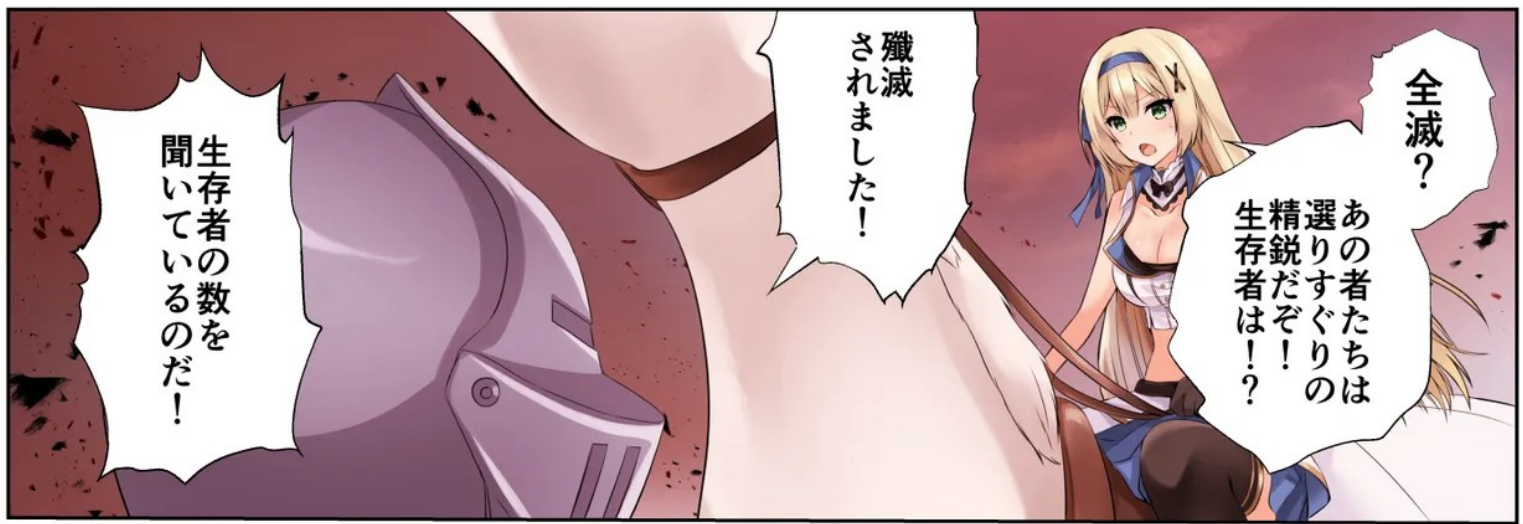
伝令！

！

先発隊奮闘するも
淫魔王の奸知により全滅！

都市サードレを淫都に
変貌させた後であった

淫魔王イシユメイア率いる
淫魔軍団が



全滅？

あの者たちは
選りすぐりの
精鋭だぞ！
生存者は！？

殲滅
されました！

生存者の数を
聞いているのだ！



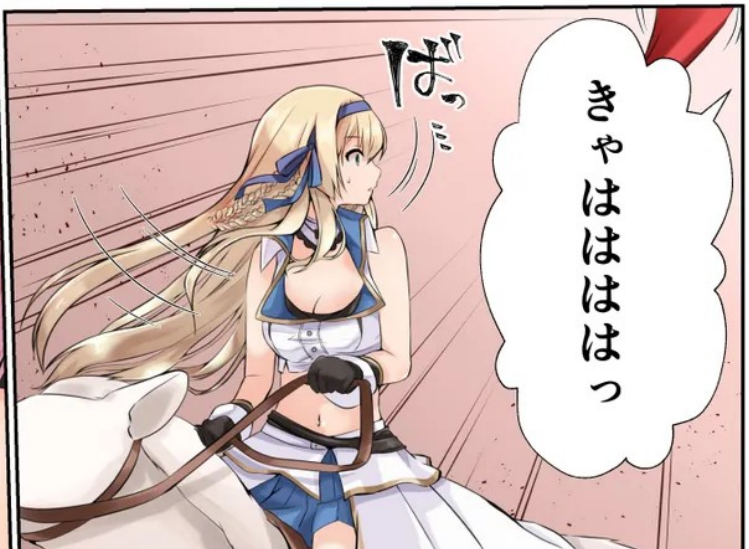
文字通りの
殲滅です！

生存者は
おりませんっ！

なんだと……



あたしが殲滅
させたんだから
間違いないわぁ♪



きゃははははっ

ばっ

貴様っ
淫魔か！

はぁい
こんにちは♪

そして……
さようなら

！？

王立騎士団の
皆ちやまあ♪

……
うっ……

グ
ラッ



ぐっ……
うううっ……



さすがは
王立騎士団の
騎士様ね♪

残さず美味しく
いただきましたわぁ♪



お、お前たちっ……!!

あはあぁん
おいしいっ♪



くっ……
なぐんちゃって♪



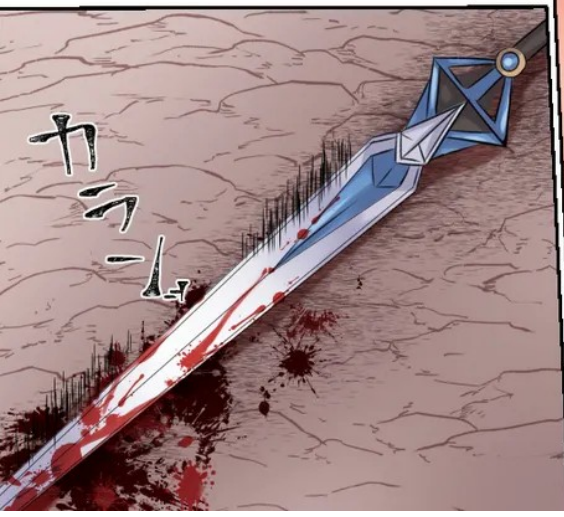
うっ……？



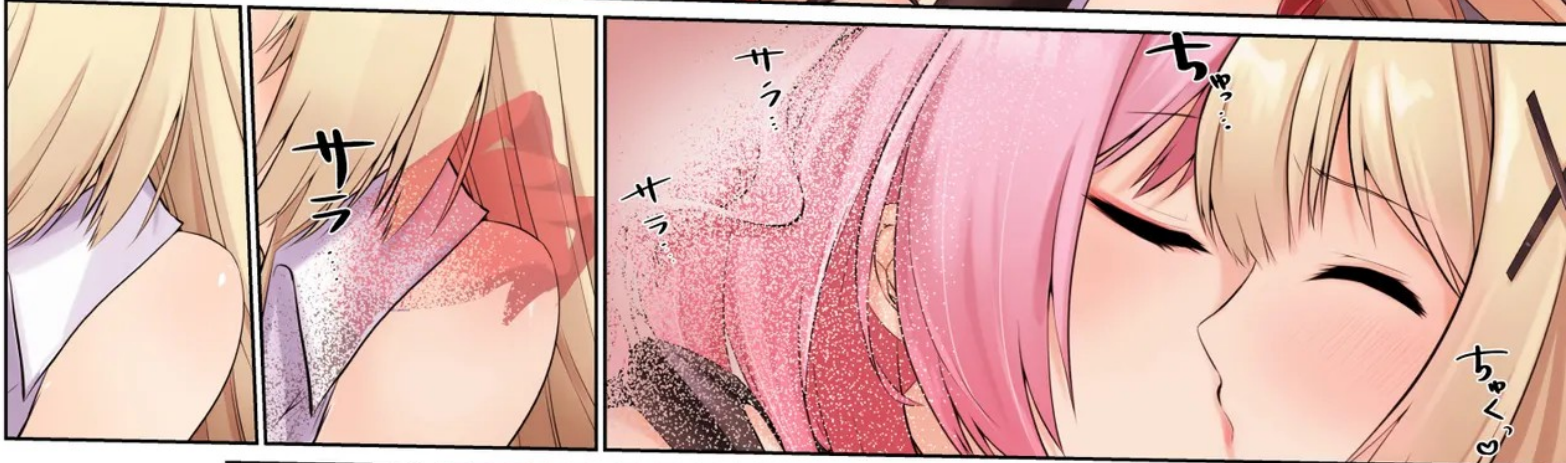
ぐあああっ……!!

化け物め！
我が愛剣のサビと
なれたことを
誇りに思っ
て逝くが
いい

うぐぐぐ……



カラッ



はあっ

はあっ

んん……

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ
ちゅぱあ……

だ、団長いけません
アリシア様……

すろっ……♡

うふうん……
こんなにあちんぽ硬くして
何を言ってるのかしらあ

びるんっ……

ブルブル……



ちゅっばっ
ちゅっば

ずちゅるるる
ぷちやあ

くうっ
アリシア様……

おおおおっ



おいしそうな
オチンポ……

はあっん
ぺろっん



ちゅっ



おっ……

おおおおお……



うふふっ
ごちそーさま♡



ふう……



ずちゅぷっ
れろっ

ぷちやつちゅぷふ……
ちゅほほっ!

……はっ！
わ、私はここで
何を……？

うっ……げほっ
げほっ……

な、何か
喉に絡みついて……

あら
もう起きちゃったの？

もうちよっと
寝ていてくれて
いいのに♪

きつ……
貴様は

昼間の
淫魔！

砦に侵入したのか！
どこだ！？

どき

うっ……あっ
ぐっ……！

無駄無駄♪
動けないでしょ？

この身体は私が
いただいちゃったわ



な、なんだとっ……！？

前の肉体にも
飽きてたとこだったし

あなたに壊されて
ラッキーだったわあ



代わりに
こんな美しい

姫騎士の肉体が
手に入っちゃった
わけだし？

むっ
むっ

団長？

こんなお時間に
どうされましたか！
もしや敵が……

ガッ
ガッ
ガッ

ぽっ
ぽっ

どっ
どっ



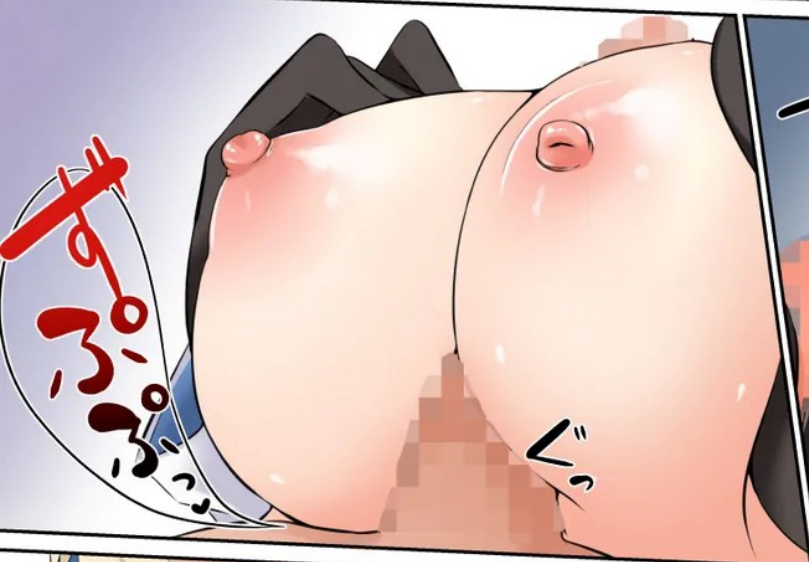


ひ、姫様っ!?

やめろ!
私の部下たちに
危害を加えるな!

ゴッ

ゴッ



あああっ
アリシア様っ?

すっ

すっ

やめろ！
破廉恥なことを
するなっ！

ううっ、私のっ……
身体で、そんな……

むちゅぶ

んあぁ
ぐちゅっ……

れろっ
ちゅむう……
ぢゅばっ……

こ、こんなことを、
して……あううっ
貴様、許さん……
くうううっ！

う、うぷっ
気持ち悪い……！

ぢゅる

舐めている感触が
私にも……

ううっ
これが男の……
うぷうっ！

ちゅこっ♡

れろっ
れろっ

ふふふっ
れろれろおっ

ぢゅ

う
う……♡

ぐちゅっ
ぢゅるっれりゅ……

おおおっ

アリシア様あっ！

ああっ
何をするか！
無礼者っ！

ぢゅ

いいわ♪
早く来てえ〜?

たくましい
オチンポ

私のオマンコに
ぶち込んでえ♪

くうっ!
や、やめろおっ!

ううっああっ
そんなところを
舐めるなあっ!

ふふっ
動こうとしても
無駄よ〜♪

あなたは意識が
あるだけ
身体は動かさないわ

むにっ...
にゃ...

でも快感は
共有してる状態だから
せいぜい楽しんで頂戴

やめろ!

こんな恥を
かかせるぐらいなら
いつそ殺せ!

ぽんっ

くらっ

ぐちゃっ

ずるずる



まさか
あなた初めて
だったの？
あらあら

くっくっ

くっ……



くううっ……
んんっ
うううっ！



あら？
なにこの感覚……？

ちょっと
痛いじゃない？



うふふっ
この感覚も
懐かしくていいわね……

ふふっ
あはははは♪

んんっ

くっくっ

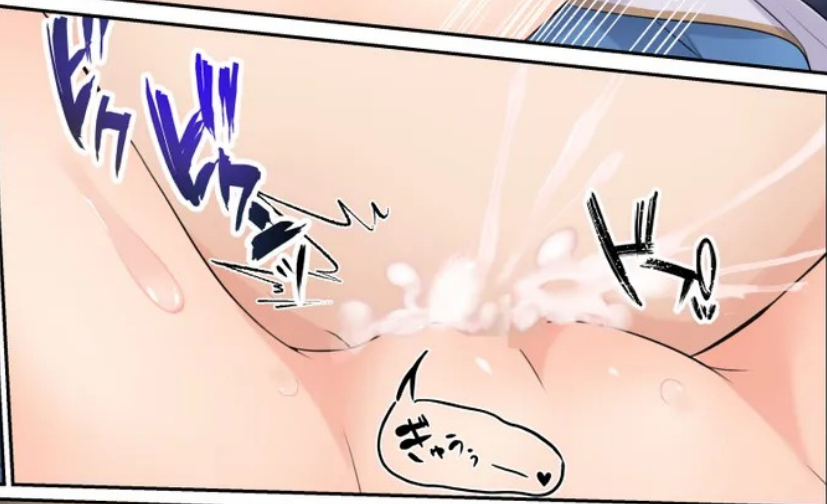
ううっ……
ぐううっ
こ、こんな……
こんな形で……



あはあっ
んっんっ
♡♡

はあん♡

んあっ♡
なんか新鮮♪



うぐうっ!
うう……ああ……
カナード殿下……!

ふっ……

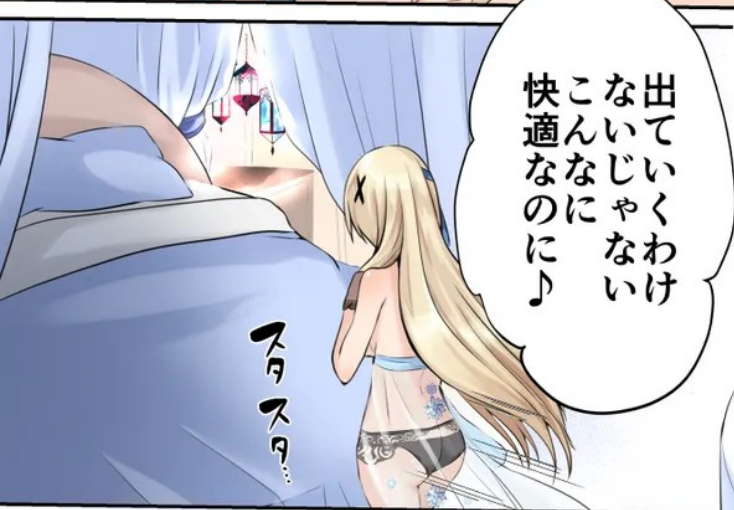


あら、
お目覚め？

ちゃーんとおうちに
帰ってきたわよ

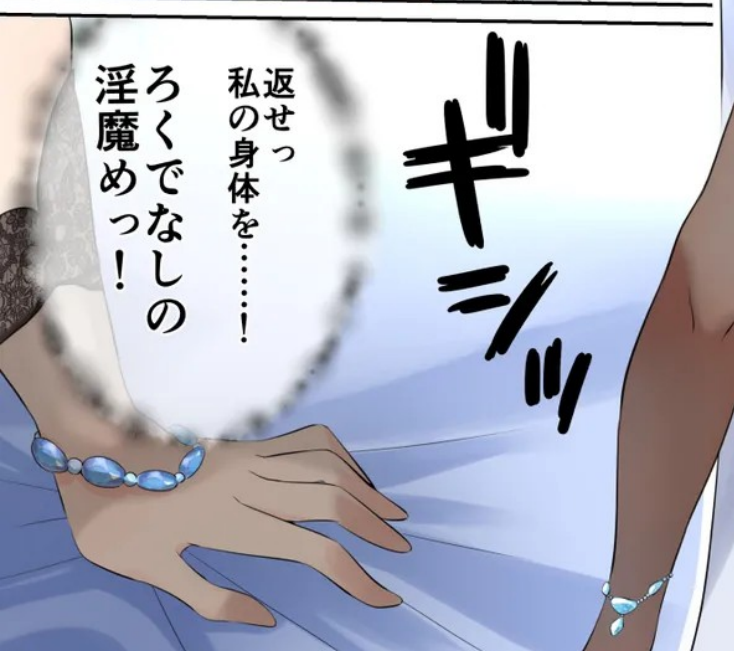
貴様！
私の身体を返せ！

いいかげんに
私から出ていけ！



出ていくわけ
ないじゃない
こんなのに
快適なのに♪

フタスツ...



返せっ
私の身体を……！
ろくでなしの
淫魔めっ！

ふふっ
ミジメよねー

自分の身体なのに
自分で
動かせないなんて



ほーら
こんなことしても

自分じゃどうすることも
できないでしょう？
ふふっ……♡

んはあっ……！
んっ、や、やめろ
私はこんな
破廉恥なことは
しない！

ええ？
オナニーも
したことないの？

そんなわけ
ないでしょう

ゾクゾク♡
んあっ♡

おに、

くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ♡

するっ……

んくうっ、やめろっ
私の身体を弄ぶのは……
あああっ♡



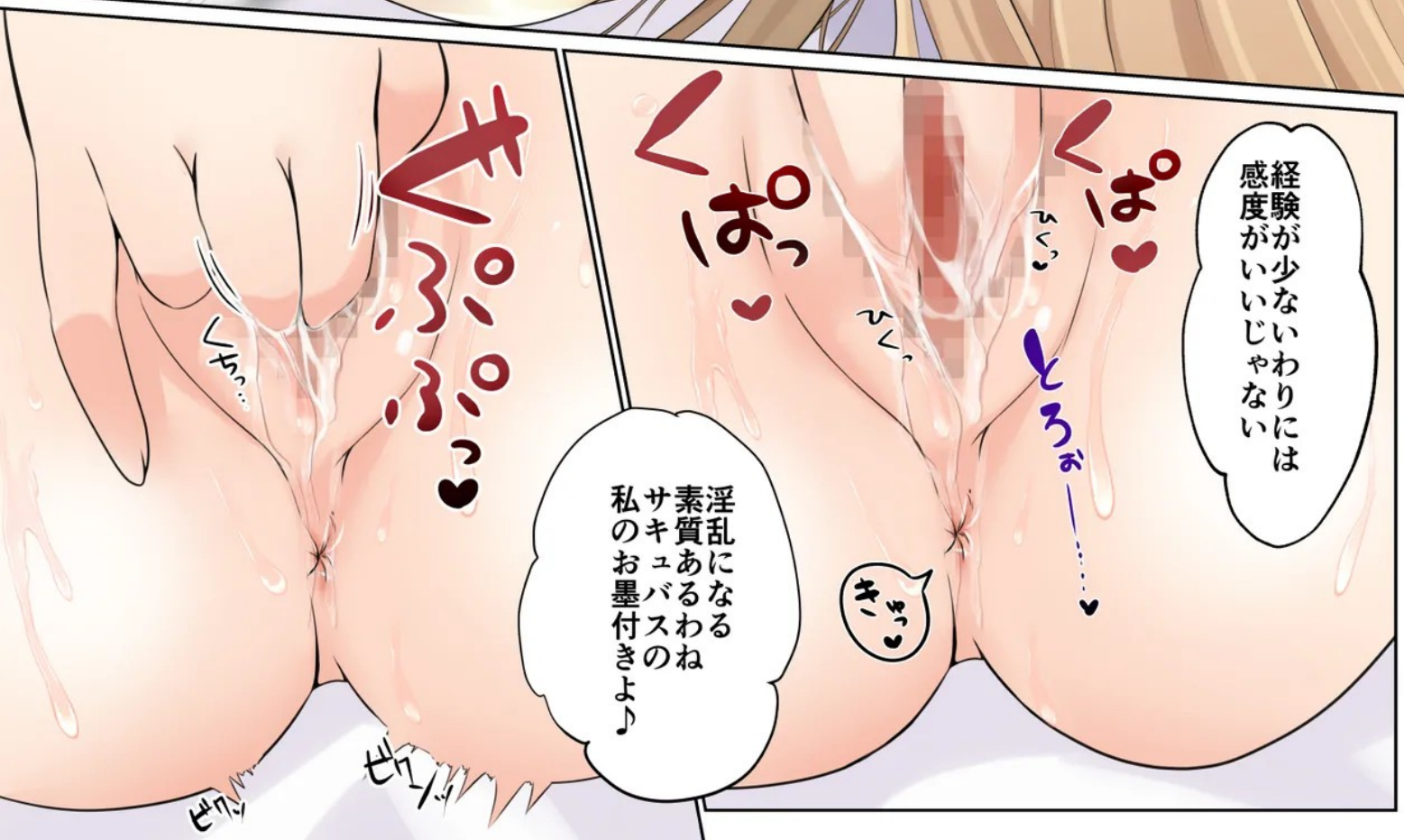
ふふっ
可愛い反応♪

楽しめそうねー
ああん
なんて小さい
クリトリスなの？

キョウッ...

あああつ
やめろっ

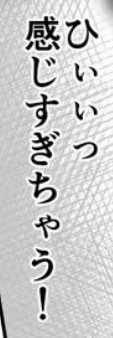
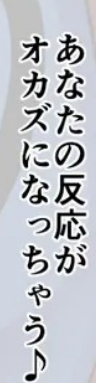
そんなところを
触るなあっ！



経験が少ないわりには
感度がいいじゃない

淫乱になる
素質あるわね
サキュバスの
私のお墨付きよ！

キョウッ...



はあああああっ！
あああ
いやあああああっ！

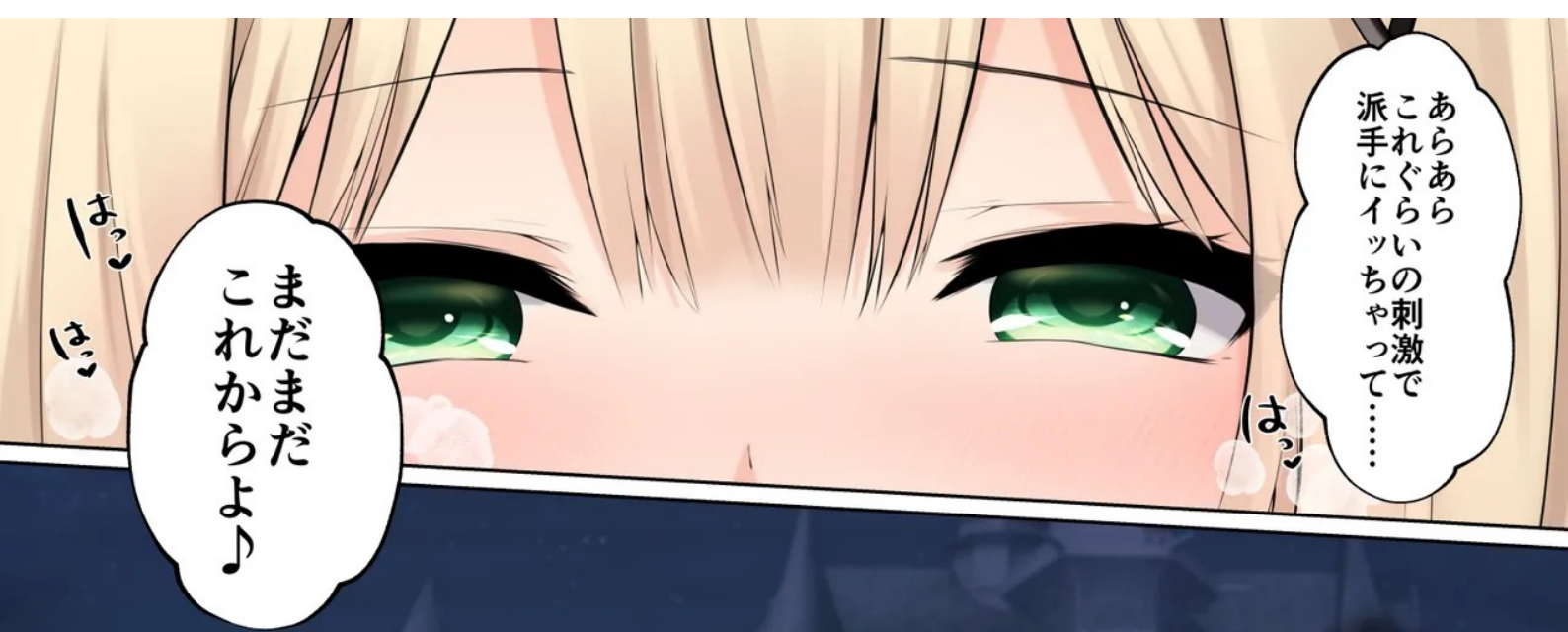
はあっはあっ
敏感なオマンコね……

ここが
いいの？
ほらほら
♡

もうダメえっ
あっあっ

ああっイクっ
イッちやううっ♡





あらあら
これぐらの刺激で
派手にイツちゃって……

はっ
はっ
まだまだ
これからよ♪

いや
いやいやっ

ダメっ
いま触っちゃダメっ！



あああっ！
あああっ！
あああっ！
♡



チン
チン

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

ここは
どこだ……？

わ、私は
どれぐらい
気を失って……

お目覚め？
お久しぶりね
アリシア
ずいぶんと長い
お昼寝だったわね

ううっ……
あれから何日も
たっているのか？

とっくに意識が
溶けてなくなっちゃったと
思ってたのに

まだ残ってたなんて
さすが姫騎士ね

溶けてなくなる……
だと？

言っ
てな
か
つ
た
か
し
ら
？
も
う
あ
な
た
の
意
識
は
消
え
か
け
て
る
の
よ

もうじき私の中に
吸収されるわ

くすっ

そんな……！

アリシア姫！

突
入
二
一

えっ……！？

久しぶりだね
アリシア

病気で部屋から
出られないと聞いていたが
回復したんだね

カナード殿下……？
そ、それではここは
マルティス王国なのか？

殿下
お久しぶりですわ
病に倒れ
ずっと殿下のことばかり
思っておりましたの

ガッ

ま、待て、貴様！
殿下にご無礼であらう！
即刻、ここから立ち去れ！

アリシア
あなた、彼に思いを
寄せていたのよね？

前に彼の名前を
呼んだことが
あったものね

う、うるさいっ！
黙れっ！

淫魔ごときが
殿下の前に
しゃしゃり出るな！

部屋に日記があったわ。
王子様への思いを綴った……
うふふふ

こ、この外道が！
そんなことをして
貴様に何の得が……

安心して！
私があなたの夢を
叶えてあげるから

もともと、
あなたの自信の意識が
どこまでもつか
わからないけど♪

貴様、まさか……！

やめろ！
やめろおっ！
殿下に近づくなあっ！

少し雰囲気
変わったね？

なんというか……
その、とつても
大人っぽくなった

あら殿下
私もいつまでも
子供では
ありませんのよ

あはは
つい頃のことを
思い出して
しまうよ

キミはいつも
勇ましくて
弱虫の僕を
守ってくれたっけね

今でも気持ちは
変わりませんわ

私はいつまでも
あなたを守ります
そのために騎士に
なったのですもの……

アリシア……!!

殿下
私のすべては
あなたのものですわ

ああああっ
やめろ!

殿下に指一本触れてみる、
ただじゃおかないぞ!

ふん、
意識だけの存在のくせに
何ができるっていうのよ♪



あなたのものは
何もかもぜいぶんぶ
アタシが有効活用してあげる

アリシア……
愛しているよ

あなたの身体も
あなたの王国も……

そしてこの国もね♪

ああっ殿下……？
ちゅっちゅむむっ……♡

やめろ！
やめてくれ！

いやだあああああっ！

ほら
憧れの人と
エッチできるのよー

嬉しいでしょう？

いやだ
いやっ！

こんな形で……
こんな形で殿下となんて、
いやなのいやあ！

ギ
シ
ッ

す
る

ギ
ッ

ひゃあん♡
殿下のオチンポ
太くてガチガチいつ♡

ひ
と♡

オマンコいつぱい
広げられちゃう♡

あ
い♡

ああん、
もつと、もつとお♡

あ
ん♡

アリシア！
なんて
いやらしいんだ……

キミがこんなに
淫らだったなんて……
素敵だよ ちゅっ

ちゅ
ちゅ♡

殿下……
殿下あつ

それは私では
ありません……
こんなの嫌あ！
ああああつ！





はあん
あっ
あん
っ

あ

あ

あ

あ

あ あ あ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ



気持ちいいっ
はあ
あん
っ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

おおっ!
おっおっ!

あはああっ♥

いいわあつ
極上の精気だわあつ♪

オチンポ
おいししゅぎるううっ♪

大丈夫よ
ギリギリのところ
吸い取るのをやめて
おいてあげるから♪

きゃははははっ♪

あふんっ
精液きてるう♪

あつんっ
アツアツの
ザーメンの

いっぱい吸い上げ
ちやうのおっ♥

はふんっ
あつあつはあん♥



カ
ラ
ン

カ
ラ
ン

汝は
アリシア・フォン・レイスヴァインを
妻とし

永遠に愛することを
誓いますか？

はい
誓います



汝は
カナード・マルティスを
夫とし

永遠に愛することを
誓いますか？

はい
誓います

ふふっ
アリシアのおかげで
こっちの国まで
手に入っちゃった♪

しばらくはごはんの
心配は無さそうね

飽きたら滅ぼして
別の国を
襲えばいいんだし♪

それまで贅沢三昧で
楽しんでやおうと♪

R-18

ADULT ONLY

姫騎士アリシアの受難

——オーク様は姫騎士を
使い魔にしたい——

PRESENTED BY

聖華快樂書店

STORY BY エルトリア

ART BY じゅらい COVER ILLUSTRATION 針魚

レイスヴァイン王立騎士団の
団長・アリシア・フォン・
レイスヴァインは、
危険地帯の見回りの最中に
統制の取れたオークの集団に
遭遇してしまった

いかにアリシアが武勲を上げ
個人でも高い実力を誇る
騎士であっても、多勢に無勢の
状況では不利な形勢を
逆転するには至らず、
オーク達に囚われてしまった
のだった

我が軍門に下るのであれば
命だけは助けてやっても
いいぞ？

不覚……っ
くっ、ひと思いに殺せ！

貴様らのような
卑しい者の配下にな
るくらいなら
死んだ方がマシだ！

その威勢の良さが
いつまで続くかな？



アリシアの率いる騎士団は
オークロードの手下を
何人も屠っていた

散々煮え湯を飲まされた
オークロードは
それを指揮した
アリシアに対し、
報いを与えんと
彼女の周りが
手薄になる瞬間を
狙っていたのである

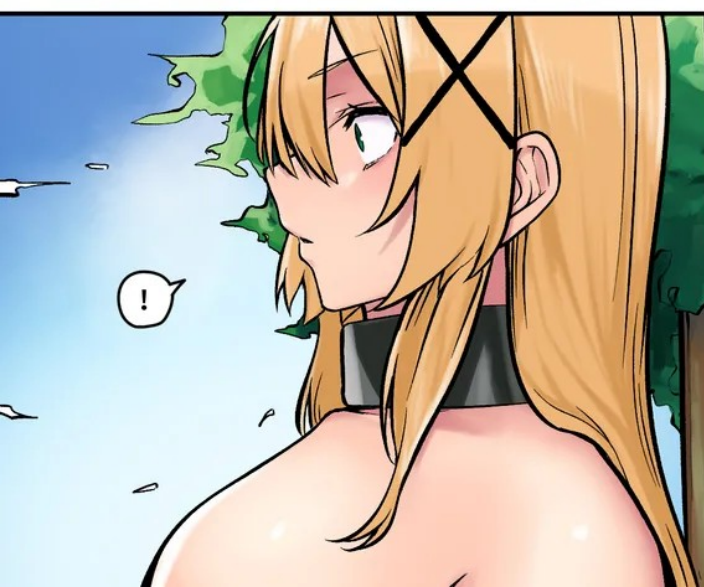


怖気づいたか？

……っ、ふんっ！



ガチャッ



痛みなら
いくらでも
耐えられる……！



私が拷問対策を
していないと
思ったのか……？



なんだ
これは……？



なに、薄汚れた貴様を
洗ってやろうと思ってな
——お前たち

はっ！



貴様らのような
汚いオークが
触れていい体ではないっ

ひいっ！
触るなあっ！

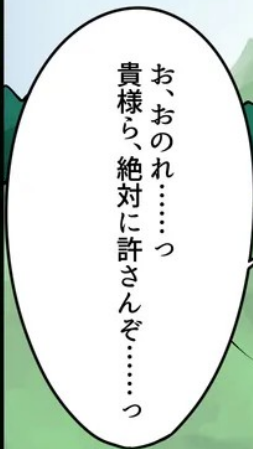
グッ
グッ



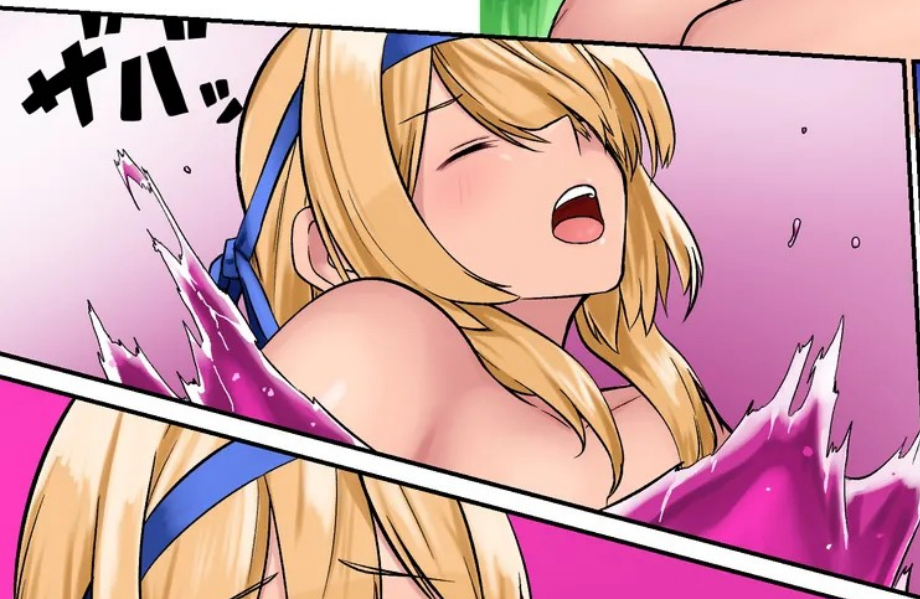
いい体つきを
しているじゃないか
これは期待が出来そうだ

フエ

フエ



お、おのれ……っ
貴様ら、絶対に許さんぞ……っ



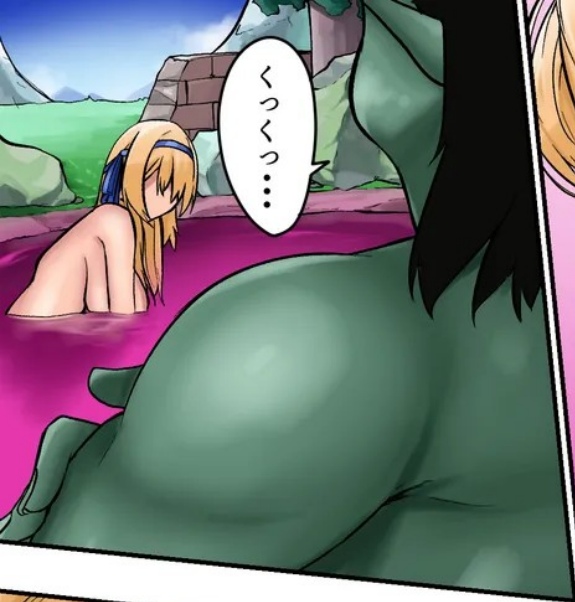
くっ……なんだ
この泉は……？
妙に、体に絡む……っ



さあ、思う存分
汚れを洗い流すがいい

——下らぬ人間の矜持という
取るに足らない汚れをな

グッ



くっくっ...



ゲホッ
うう...!!

な、なんだ...っ!!
この水...
なにか
おかしい...っ!



何かある...!!
早く、この泉から
上がらないと...っ



くく...

フヒヒ フヒヒ



よしよし、
寄生が始まったな



ひゃっ!!



な、なんだこれは...っ
私の、肌が...っ

ヌル

フル

アリシアが落とされた泉は
普通の泉ではなかった

その名を『淫魔源泉』と云う

『淫魔源泉』とは
魔族が下等淫魔を
創り出すために
用いる温泉だ

ピンク色の
お湯に見える液体は
隷従液という

隷従液は泉に
放り込まれた生物の
肌にとわりつき
寄生する

肌が隷従液によって
覆われているわけではなく
肌と一体化してしまうため
脱ぐことは出来ない

完全にその隷従液が
定着した時
その獲物は
下等淫魔へと
成り果てるのだ

くっくくくく
我が同胞を
幾人も葬った女も
これで下等淫魔か……
少しは溜飲が下がる
というものだ



生まれ変わった
気分はどうだ？



わ、私の体が……っ



くっ！
最悪に決まって……!!



随分、積極的じゃないか

ちっ、ちがうっ！
私の意思ではな





か、身体が勝手にっ
やめろっ入れるなあ！

そんなにに入れて
欲しいなら
応えてやらんな

ふっふっふっー

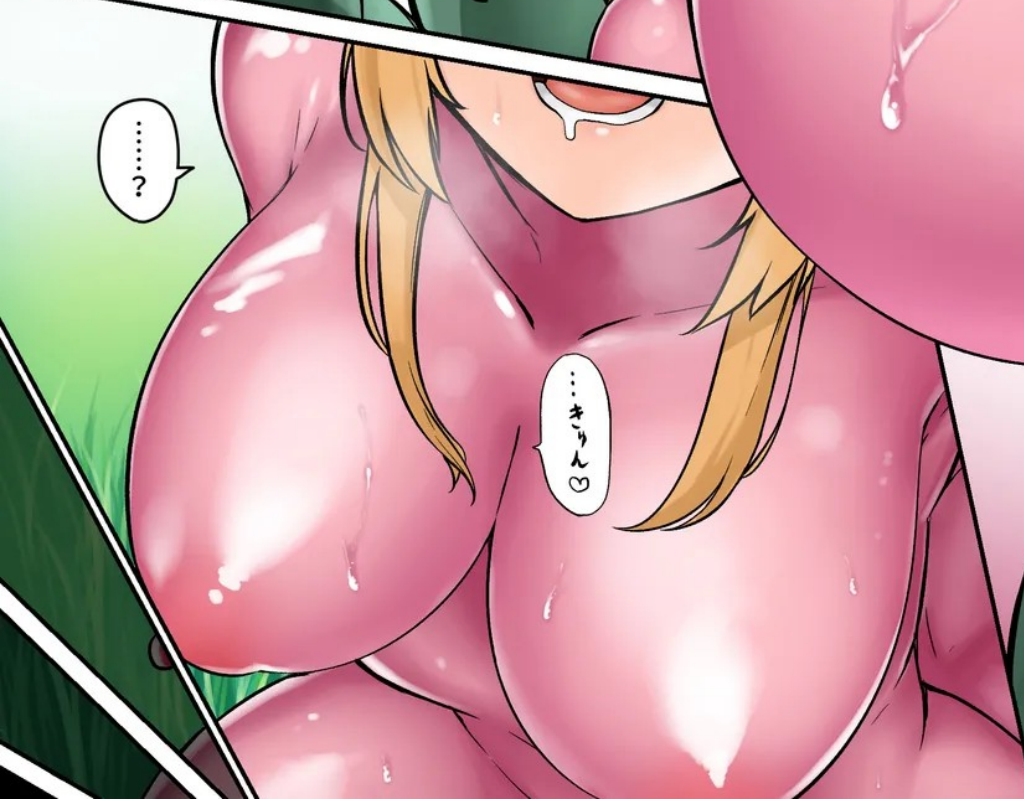
みち...
みち

ズ
ズ
ズ

お

お

パ
パ
パ
パ
パ





それからアリシアの
凌辱の日々が始まった

昼夜問わず
気付けば犯される
毎日だった



くくそお……!!
身体さえ自由に動けば
こんな奴ら……!!



いやあ、
だいぶこいつの舌遣いも
上手くなって来たなあ



そろそろ良さそうだな

最初はチンコ弄るの
下手くそだったもんな



くっ……こんなこと
したくないのに……っ！

は、

あ、

最初はキツくて
窮屈だったが
すっかり穴も
広がったなあ

ざあ……

こっち……う

そろそろこっちの
具合も確かめてみるか

ぴぎゅっ！





耐えていれば
きっと助けがくる……
それまでの、辛抱だ……っ



わ、私は絶対に
負けない……っ



はあ

はあ



そろそろ次に進む段階か



よし、これで
砦付近の人間の軍は
一掃できたな

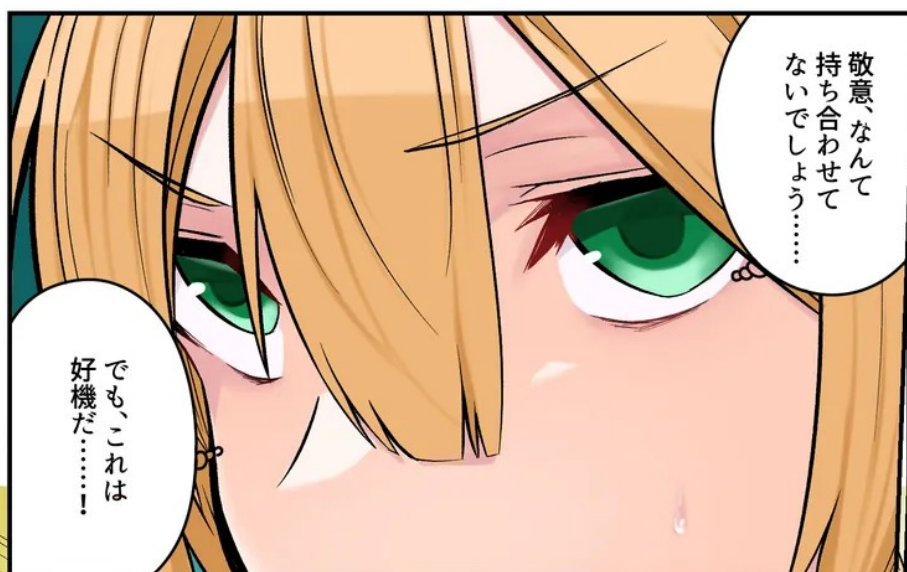




なんだと……!?

それに対する
俺なりの敬意
という奴だ

普通ならとつくに
身も心も
堕ち切っているはず
なんだがな
貴様の矜持とやらは
俺の思っていたより
高かったらしい



敬意、なんて
持ち合わせて
ないでしょう……

でも、これは
好機だ……!



怪しい——と
アリシアが思うのは
必然だった



どんな調教にも
絶対に
耐えきってやる……!



ガニャン

どういうこと……？

何もされないなら
それにこしたことは
ないけれど……

……

アリシアは
知らなかった

下等淫魔となった
自身の体が
性行為を行わないと
強い飢餓感を
覚えるように
なっていることを

それまではアリシアが
望まずとも絶え間なく
性行為をしていたが
それが急に途絶えた時
飢餓感がどれほど強まるか

アリシアは
知らなかったのだ

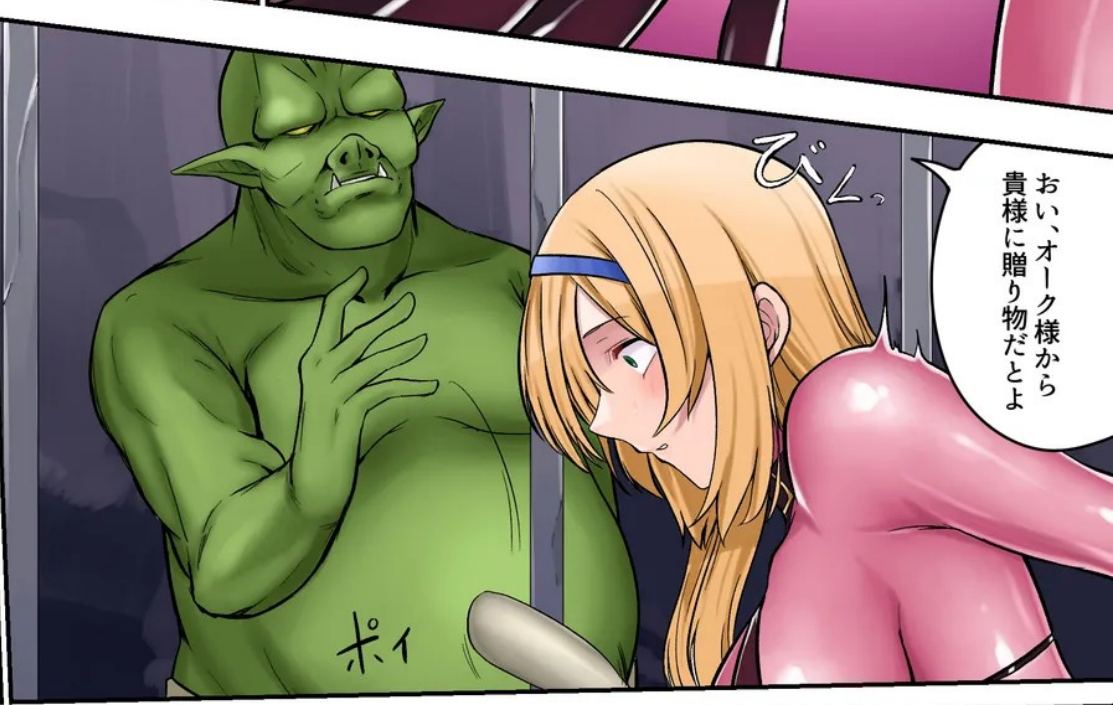


……っ！
ダメ……ッ！
そんな
はしたないこと……っ



あ……

この時、アリシアの
喉元まで『犯して』
という言葉が
出かかっていた



おい、オーク様から
貴様に贈り物だよ

びん

ポイ



……ク、ウツ！

いま、私は何を
しようと……っ！

そ、そうだ
贈り物とやらは……

ふああああ♡

ずんずん♡

……あ、あ？

あ、あれ……？
気持ち、よく、
ない……っ!?

ぐちゃぐちゃ♡

ぐちゃぐちゃ♡

下等淫魔が発情し
強い快感を覚える条件は
主人に奉仕することだ

もみもみ

もみもみ

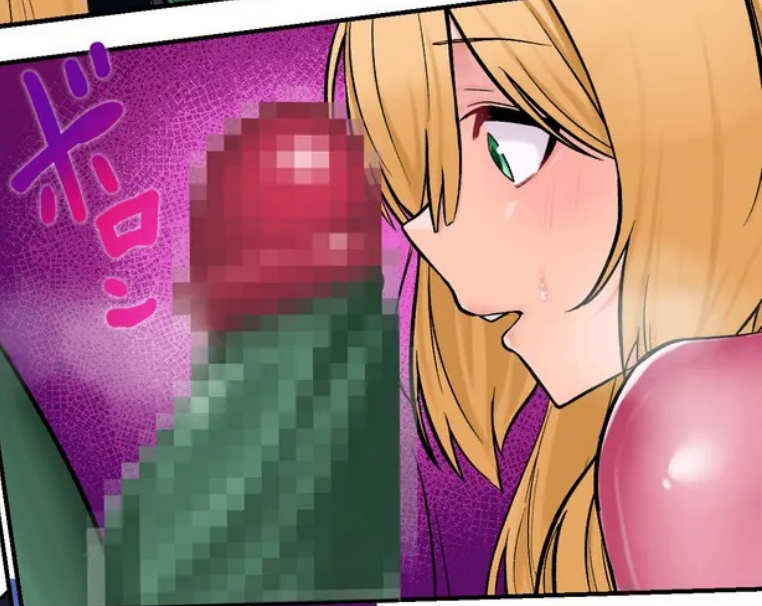
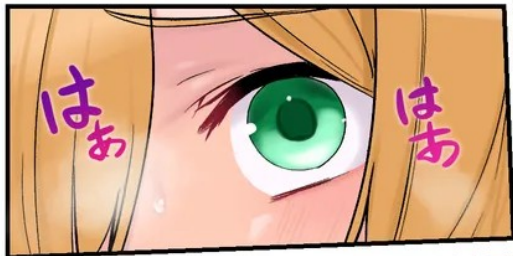
ゆえにアリシアは
オナニーでは
気持ちよくなれない

誰かに奉仕して
初めて彼女は
気持ちよくなれるのである

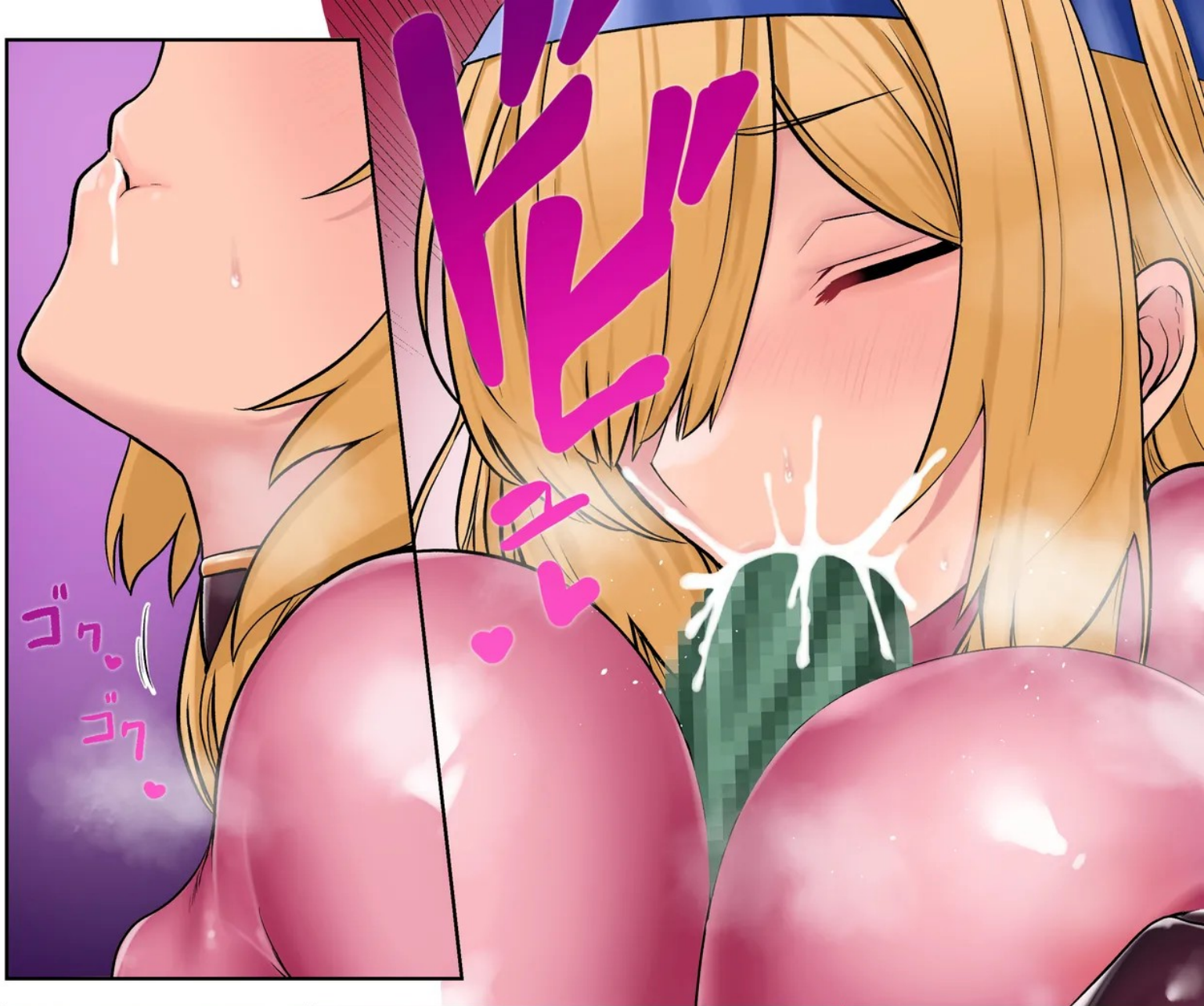
なんぞ？

なんぞ？

贈り物は喜んで
もらえたようだな？









ご主人様……♡

全く……
こう素直だと
愛いものだな

下等淫魔は
性行為をすればするほど
主人に対する
好感度も強まっていく
特徴があった

アリシアの
オークロードに対する
好意は限界まで
高まっていた



アリシア
お前から動いてみる

は、はいっ♡

し、失礼しま……っ
ふあ、ああっ！





いいぞっ
俺はお前のなんだ？
言ってみろ！

オーク様はっ♡
私のご主人様ですっ♡



どうかこの卑しい雌をつ♡
もっとイジメてくださいませ♡

一生の忠誠を誓います！♡



カシッ



はあっ♡

んあっ♡

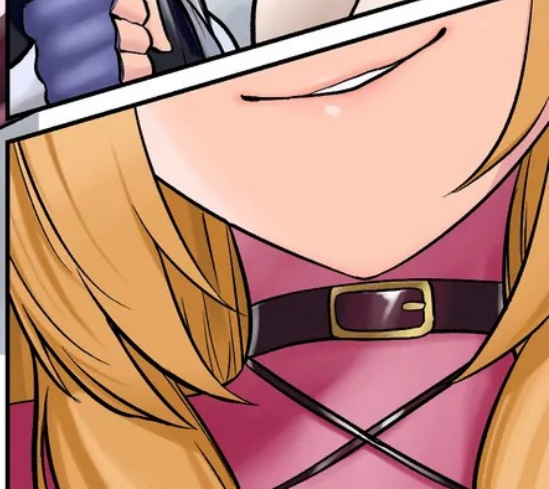
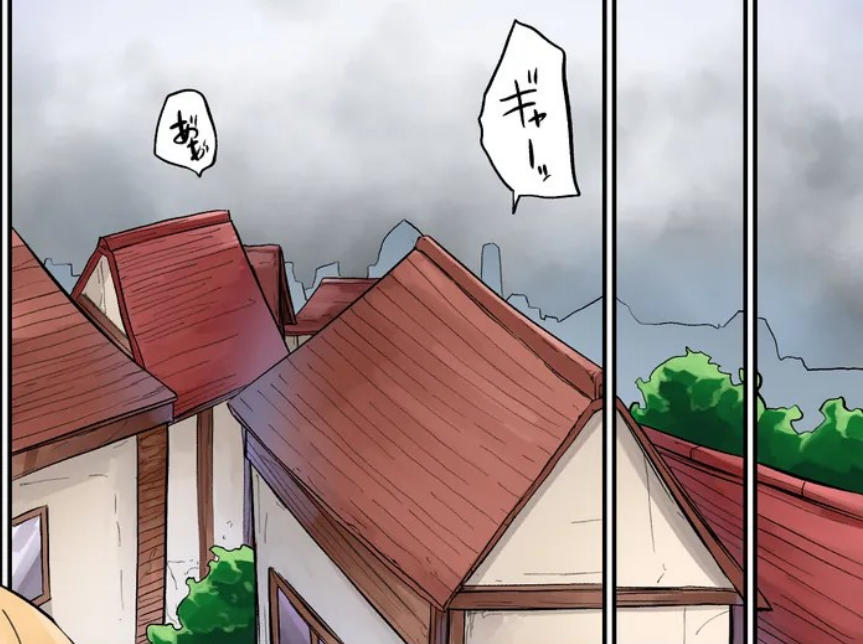
んッ♡

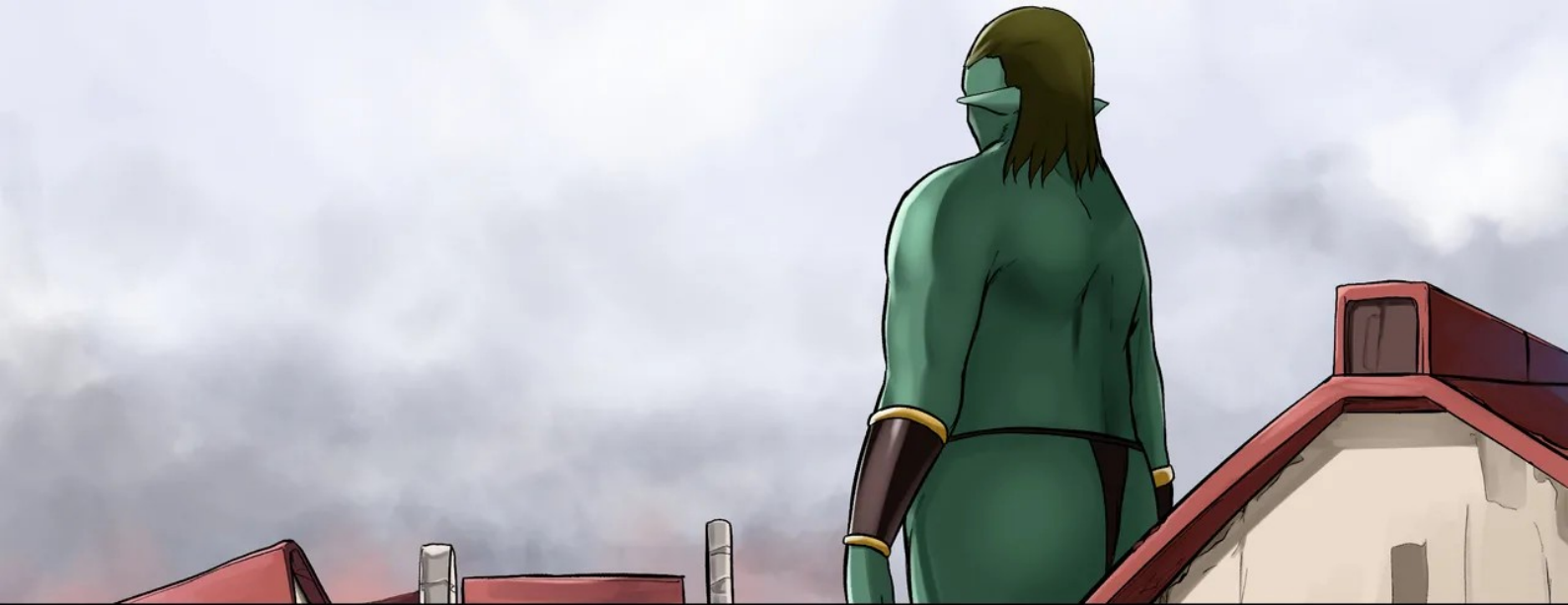
とちゅ♡
とちゅ♡

とちゅ♡
とちゅ♡



ブヒヒ……
これで貴様は
完全に俺の物だ
これからは
人間との戦いでも
役に立ってもらうぞ





R-18
ADULT ONLY

姫騎士アリシアの受難

スライムさんは

姫騎士をエナジードレインしたい——

PRESENTED BY

聖華快樂書店

STORY BY エルトリア

ART BY Tisca

COVER ILLUSTRATION 池田靖宏



レイスヴァイン
王立騎士団の団長
アリシア・フォン・レイスヴァイン

なんだ……？

彼女は城の近くを散策中
怪しげなスライムと
遭遇していた――

こんなスライム
見たことがない

駆除させて
もらおう！

いずれにせよ
城の近くに出たモンスターを
放置してはおけないな

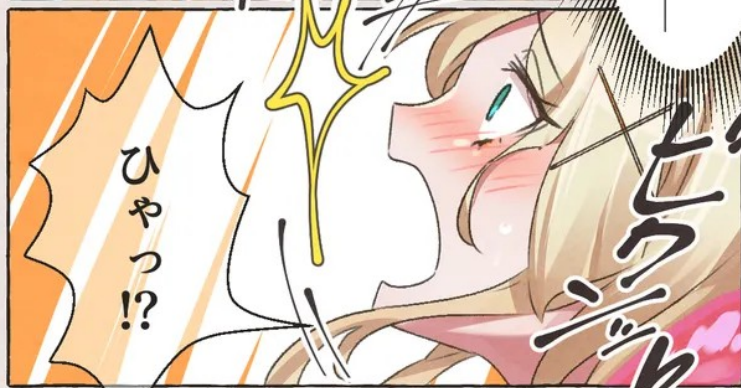
スッパッ



まさか
そこまで体が
伸びるとは……!!



魔法使いを
連れて来るべきだった――



ま、まさかこのスライム……
私の魔力を吸い取って……!?



~~~~~ッ!



揉む  
なあ……!

ひいあっ!



~~~~~ッ!



~~~~~ッ!





ボ、ボタンが  
外された!?



脱がすなあつ





















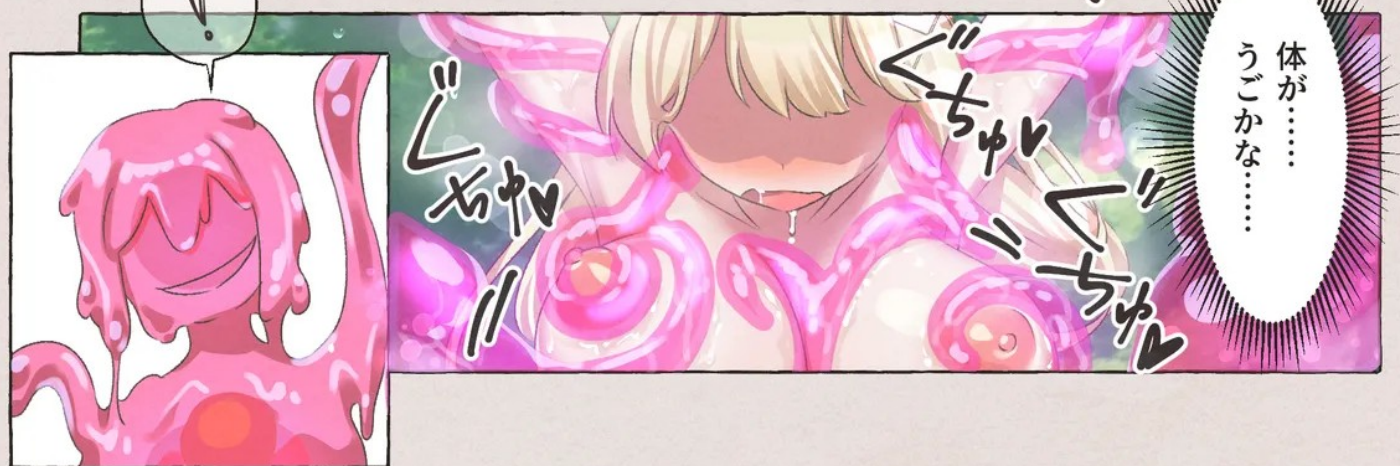
























帰るとしようかしら♡



ここが  
この人間の巢なのね……  
結構広いじゃない

お姉さま

お出かけになって  
いらしたんですか？

この人間は  
テレシア、というのね

しゅっ  
しゅっ



スライムは  
寄生した脳から情報を  
吸い上げることができた

軽く周囲を  
散策して来たんだ

それにより  
アリシアとして  
完璧に振る舞うことが  
出来ていた

























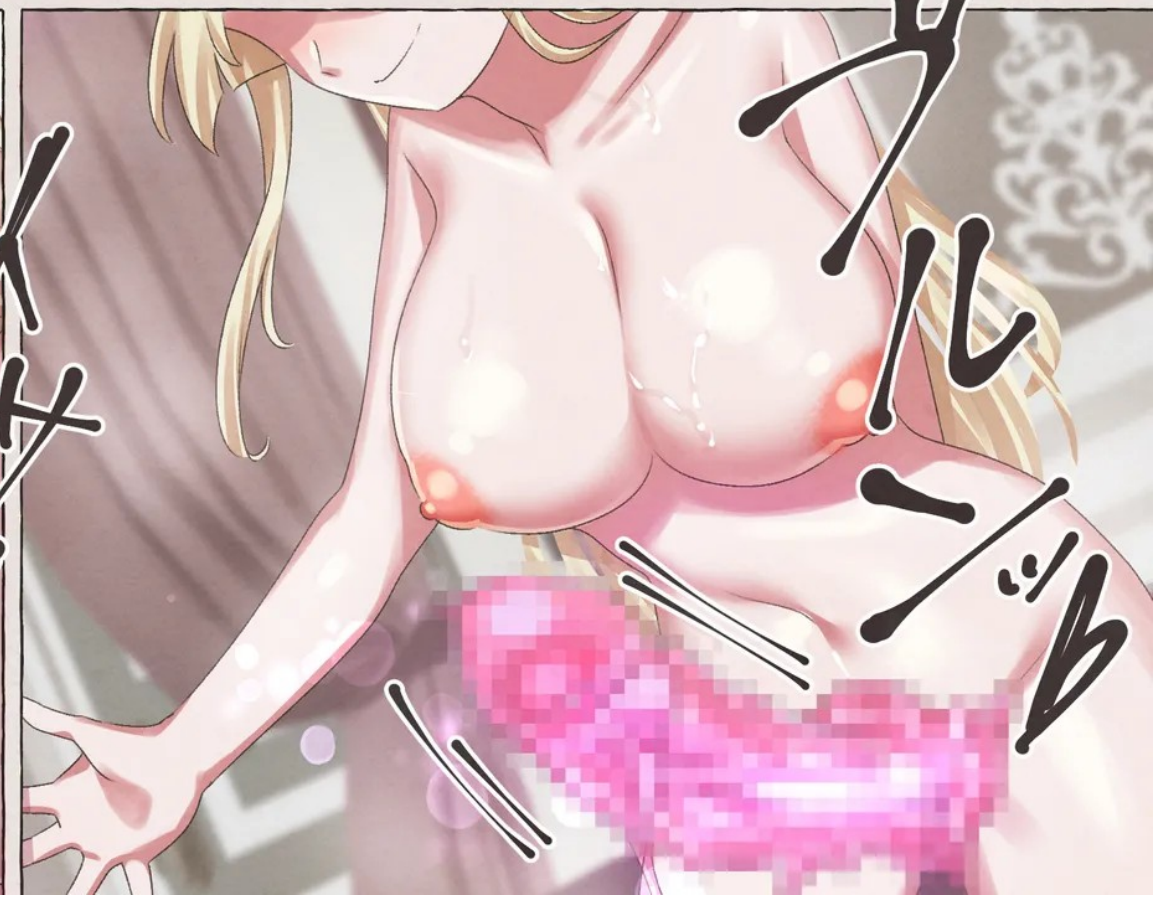




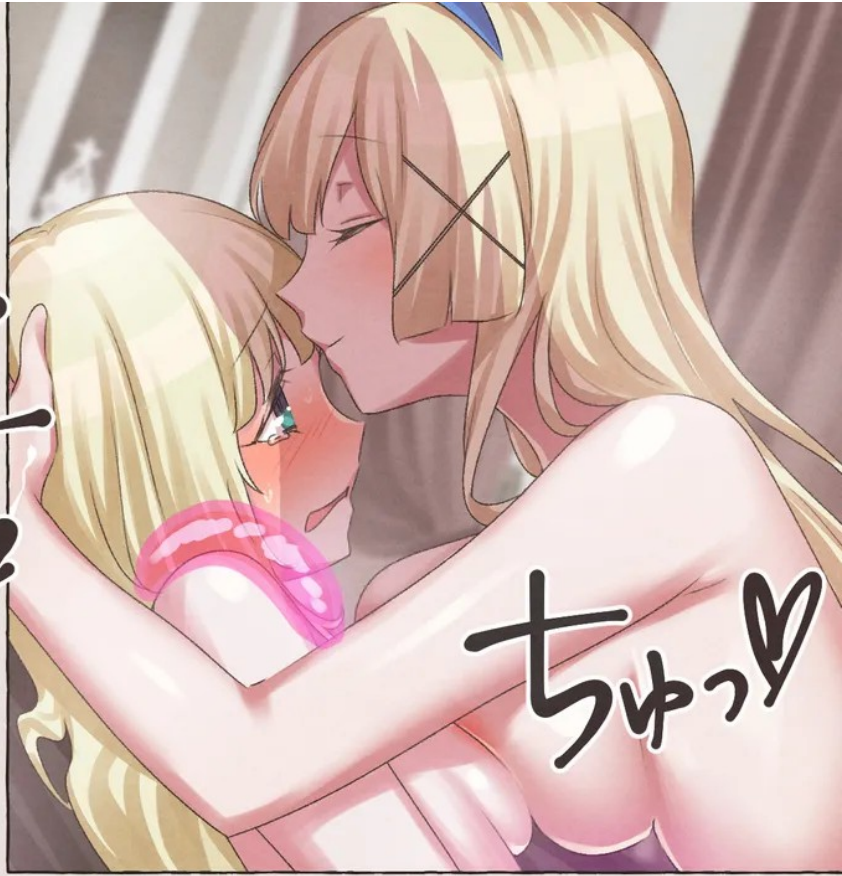








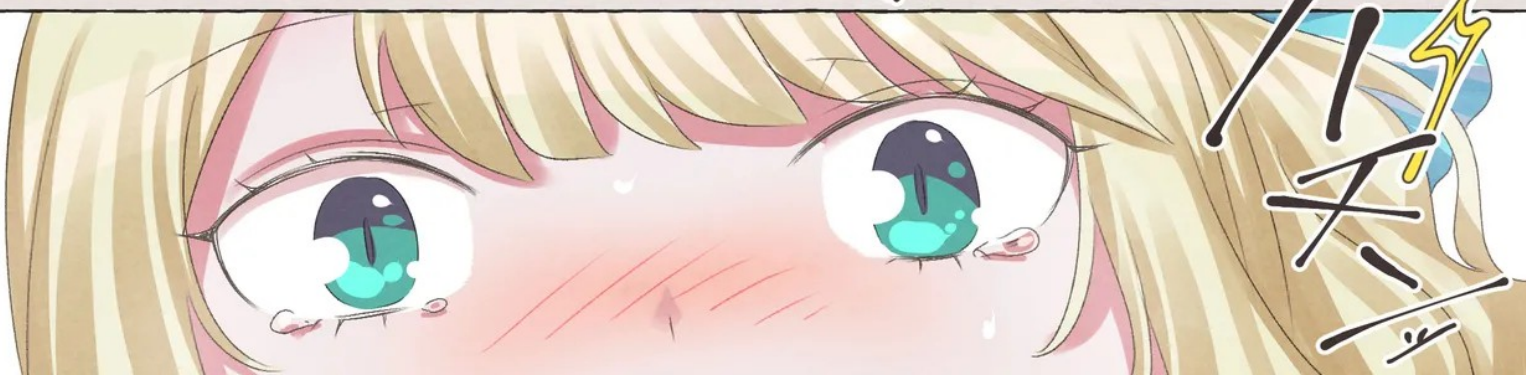
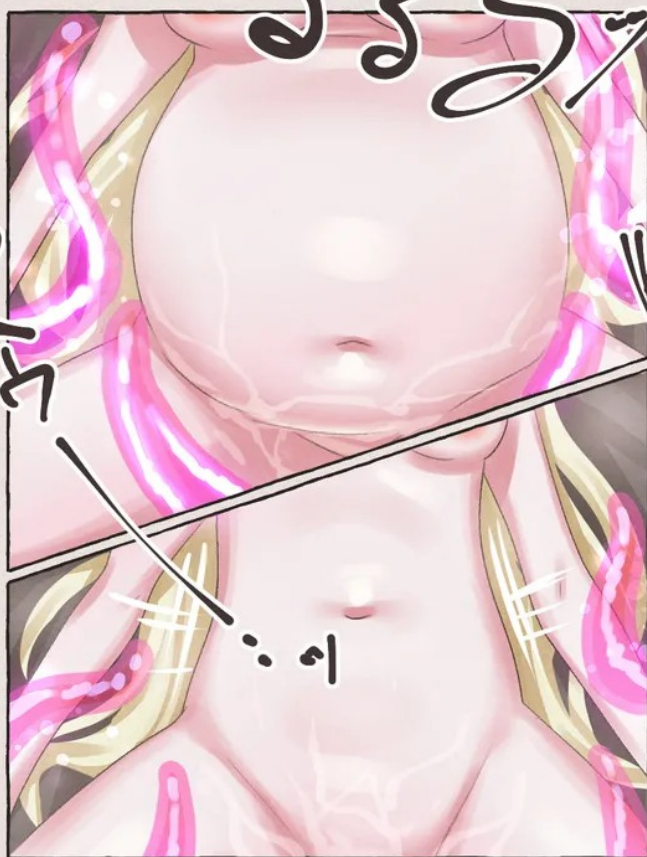




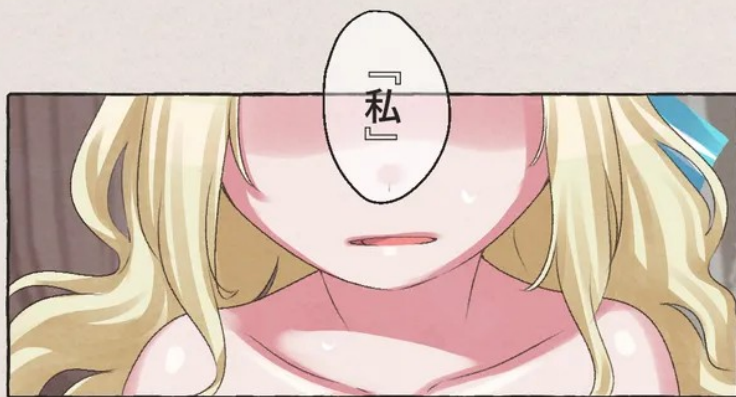














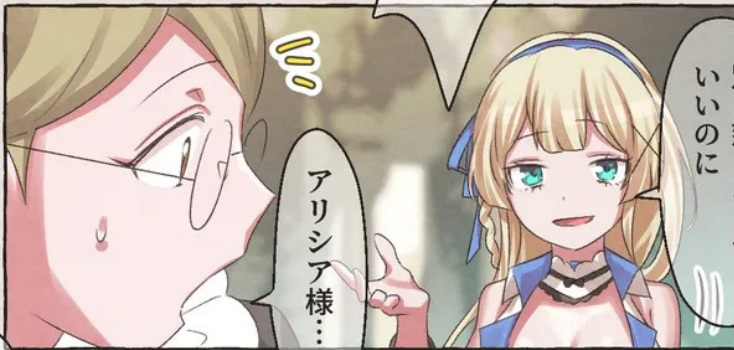


あなたたち  
仕事はどうしたのですか？

す、すみません！  
すぐ仕事に戻ります！



いいなあ  
私も呼ばれたいなあ



アリシア様……

別に怒らなくても  
いいのに



すな

っ

そういうわけには  
参りません



秩序が乱れます

全く、お堅いんだから



今夜  
私の部屋に  
来てちょうだい



ああ

そうそう





アリシア様……？

なんだか  
御變わりに  
成られたような……

まずはメイドから全部  
『私』に変えちゃいましょう

城に出入りする商人とか  
仕立て屋とかも  
どんどん取り込みましょう

哨戒と称して  
近くの村や町にも  
足を伸ばしてみるわ

お茶会を開催して  
貴族の子女を  
呼び出しましょうか



最近  
なんか妙に平和だよなあ

女の子たちが  
妙に仲良く  
なってるんだよな

やっぱあれが原因なのかな？  
アリシア様とテレシア様が  
女の子を部屋に呼んでる奴

仲違いしていた子たちも  
呼ばれてからは  
妙に仲良くなるらしいな

あのお二人が  
喧嘩の仲裁でもしてるのかねえ？

ははっ、違いねえ

だとしたら、ありがたいことだな  
うちの女房も宥めてくれりゃあ  
なおありがたいんだが

まあ、なにはともあれ――

平和が一番さ



**R-18**  
ADULT ONLY

# 姫騎士アリシアの受難

「女盗賊は姫騎士に  
ふたなり魔法をかけたい——」

PRESENTED BY

聖華快樂書店

STORY BY エルトリア

ART BY くまっこ

COVER ILLUSTRATION ユキはる





巷を騒がせる盗賊姫ミステイ。  
その捕縛任務を受けた  
アリスヴァイン・フォン。  
王立騎士団は  
第二都市セカルドへと急行した

しかし盗賊姫の  
巧みな罠により  
騎士団は  
分断される事となる

ぐああああ

ギョ

あらあら  
うちのラズを  
一撃で倒すなんて

ゴッ

くそッ  
孤立させられたか

だが護衛は倒した  
あとは盗賊姫を  
拘束すれば――

きゅん



流石は勇名高き  
アリシア王女ね



貴様が  
盗賊姫  
ミステイか？

降伏しろ  
手荒な真似は  
したくない

すっ



あっは♪  
お優しいことね  
城育ちのお姫さまは  
お行儀が良すぎで  
虫唾が走っちゃう

なんだと！



可愛がって  
あげるよ

お姫さま！





抵抗するなら  
容赦はしないぞ！

ハア！！

なっ……！？

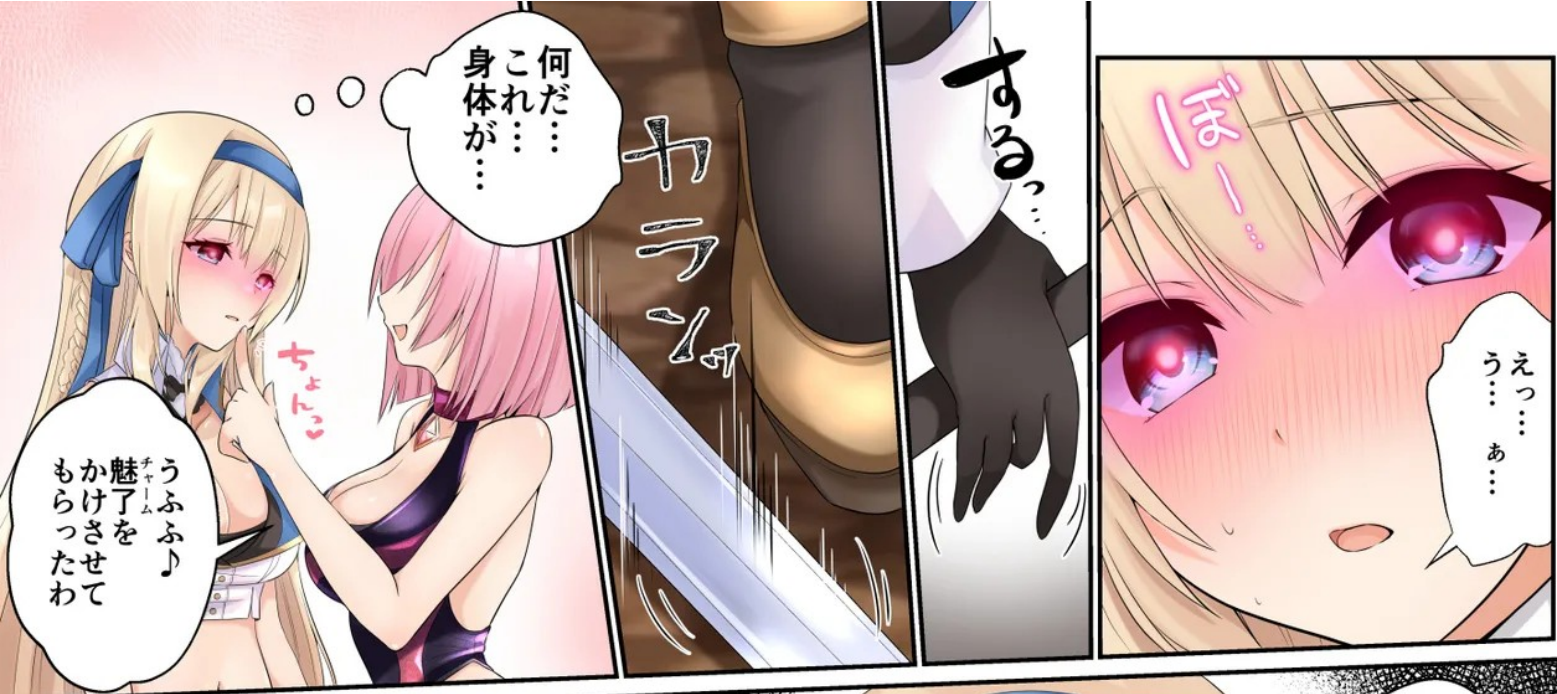
にゃっ

To be honest,  
I'm a little  
happy about  
this.

はっ









それじゃあ  
味見させて  
もらうわね

ちゅっ♡

んっ...

ちゅっ♡

ふん  
うっ

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

っっっ

ちゅっ♡

はっ♡

っっ

ちゅっ♡

可愛い子って好みより  
勇ましくしているより  
ずっといいわ

さあ

んっ

ちゅっ♡

じんっ♡  
じゅるる♡  
じゅるるっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

はっ♡

ちゅっ♡

はっ...

さあ

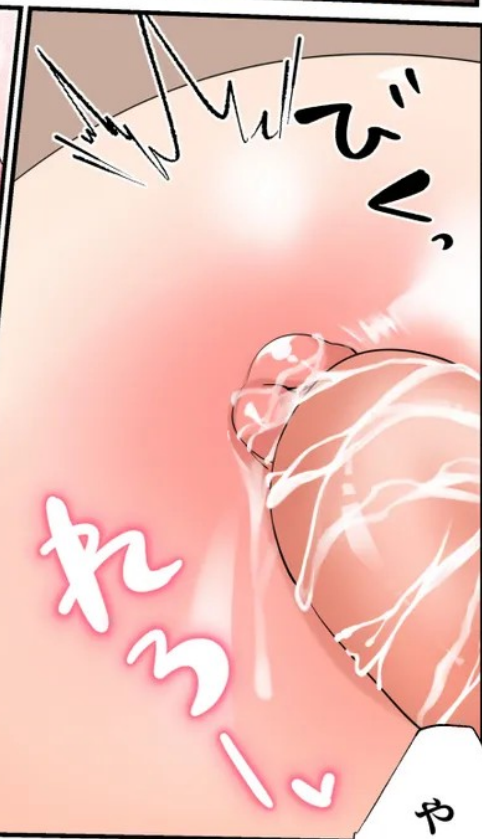
れっ

ちゅっ♡

ちゅっ♡

すっ









ああはぁ  
ああうん……!

ひゃっ  
あつっ  
♡♡♡

うふふ、  
大洪水ね  
お姫様  
本当えっちな

はぁん  
はぁん  
はぁん



このまま  
イカせてあげる

はぁん  
はぁん  
はぁん



お姫様の  
すけべなマン汁…  
癖になりそう♪

ん…  
いいにおい…

はぁん  
はぁん  
はぁん



はぁん  
はぁん  
はぁん



お姫様のこと  
気に入っちゃったから  
あたしのとっておきを  
見せてあげる

する

Paradise  
is the world  
in your  
heart

ほぅ...

な、なんだ...  
それは...?

ぐ...  
ぐ...  
ぐ...

うふふ♪  
いいでしょ...?

あたしのオリジナル魔法  
「ふたなり化」よ

さしずめ  
「ミステイマジック」  
といったところかしら?

すい

びるるん

それじゃ  
お姫様のおまんこ  
新鮮なだけわね

ぐっ...

ブッ

!?



やめっ…  
挿れるなっ…  
ひう!?

いただきまーす♪

あっあああ!

びくど

あつ…  
おつ…  
ああああッ♡

なにこれ♡  
ないただけ♡  
ないに…♡

頭…♡  
とろける…ッ♡

みちいっ♡  
ぎゃう♡  
ぎゃう♡

んふっ♪  
あったかいわ  
お姫様の  
キツキツおまんこ



あたしのおちんぽ  
先っぽから根元まで  
健気に締め付けちゃって♡

ギョウウー♡♡

可愛いわよ  
お姫様♡

あ……ああ  
はあ  
あううう！

お姫様も  
おまんこ  
パンパンされて  
気持ちいいでしょ？

こんなもの……  
気持ちよくなんかッ

あらつれない  
ならもつと  
激しくしないとね♪

ああああっ  
イヤッ  
やめてえええっ！！

あっ  
くるっ  
くるっ♡

ザーメンが  
上がってきたわ  
お姫様の中に  
全部ぶちまけてあげる♡

ぽんぽんぽんぽん

ぎち

ぐんぐん

ずんずん

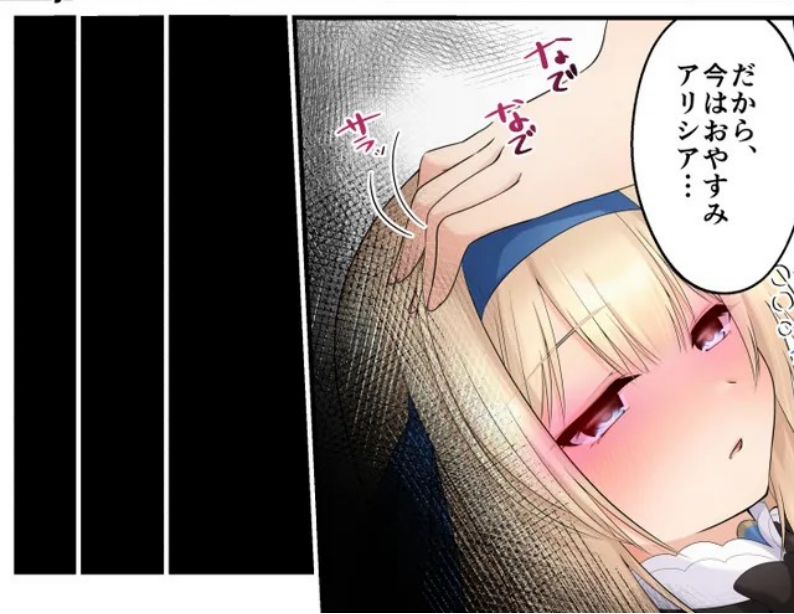
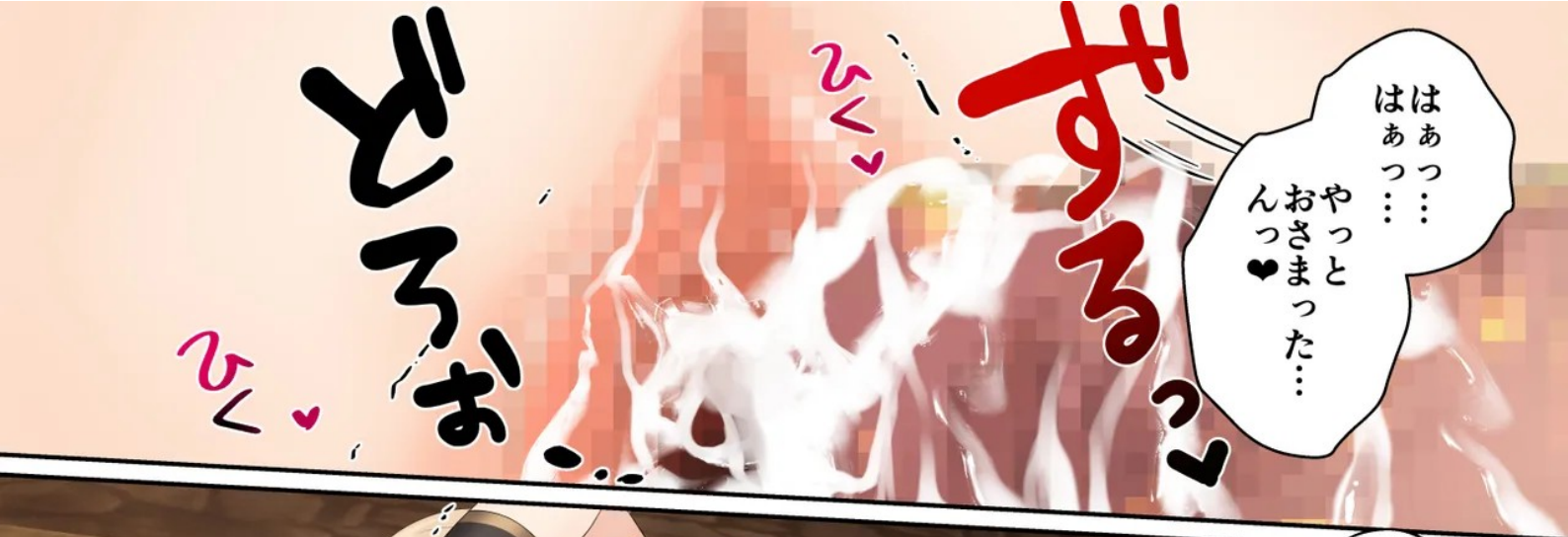
ぽんぽん

ずんずん

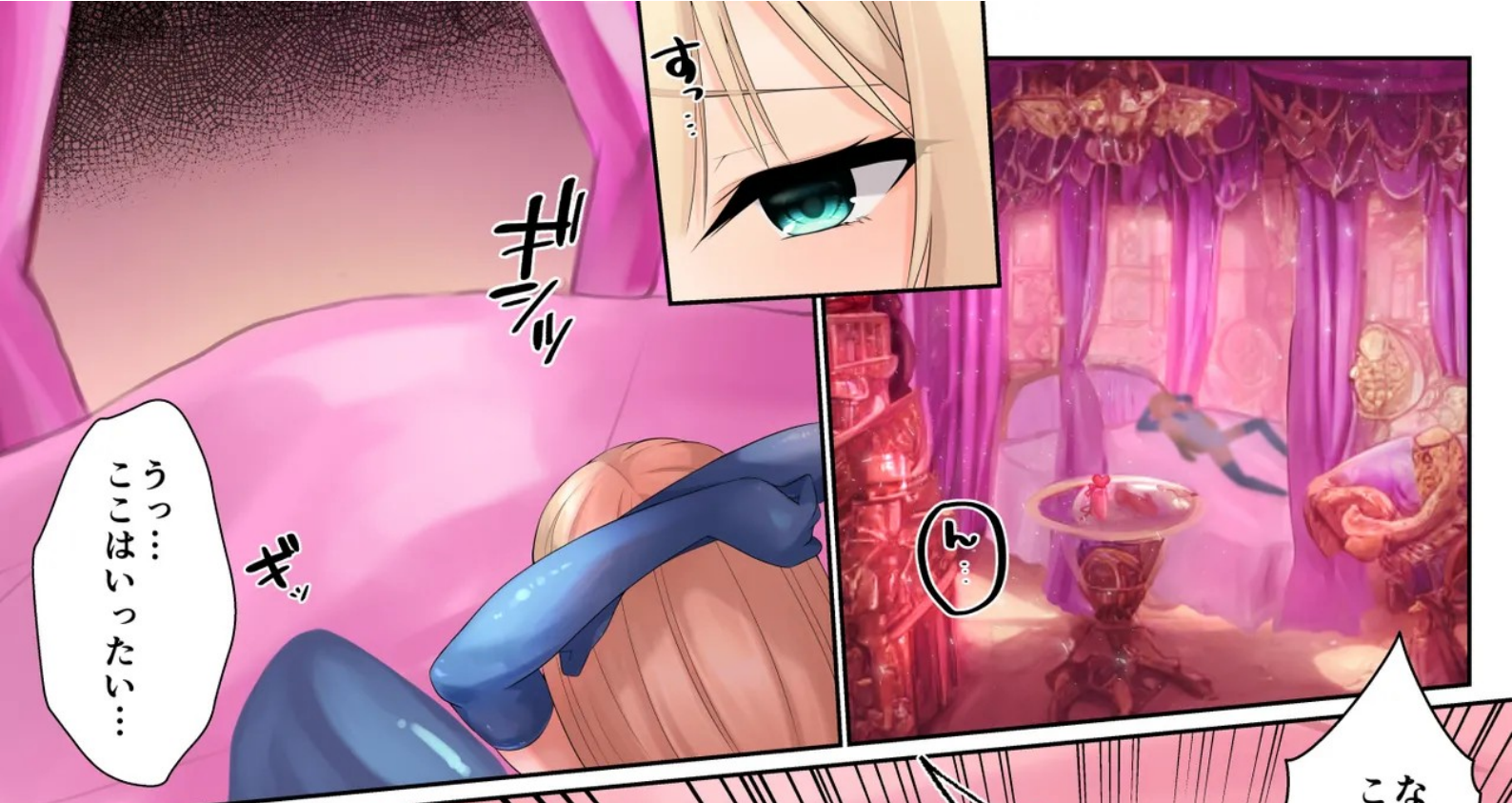












す...

ザッ  
ザッ

ん...

うっ...  
ここはいいたい...

ギッ

な、なんだ  
この格好は...!

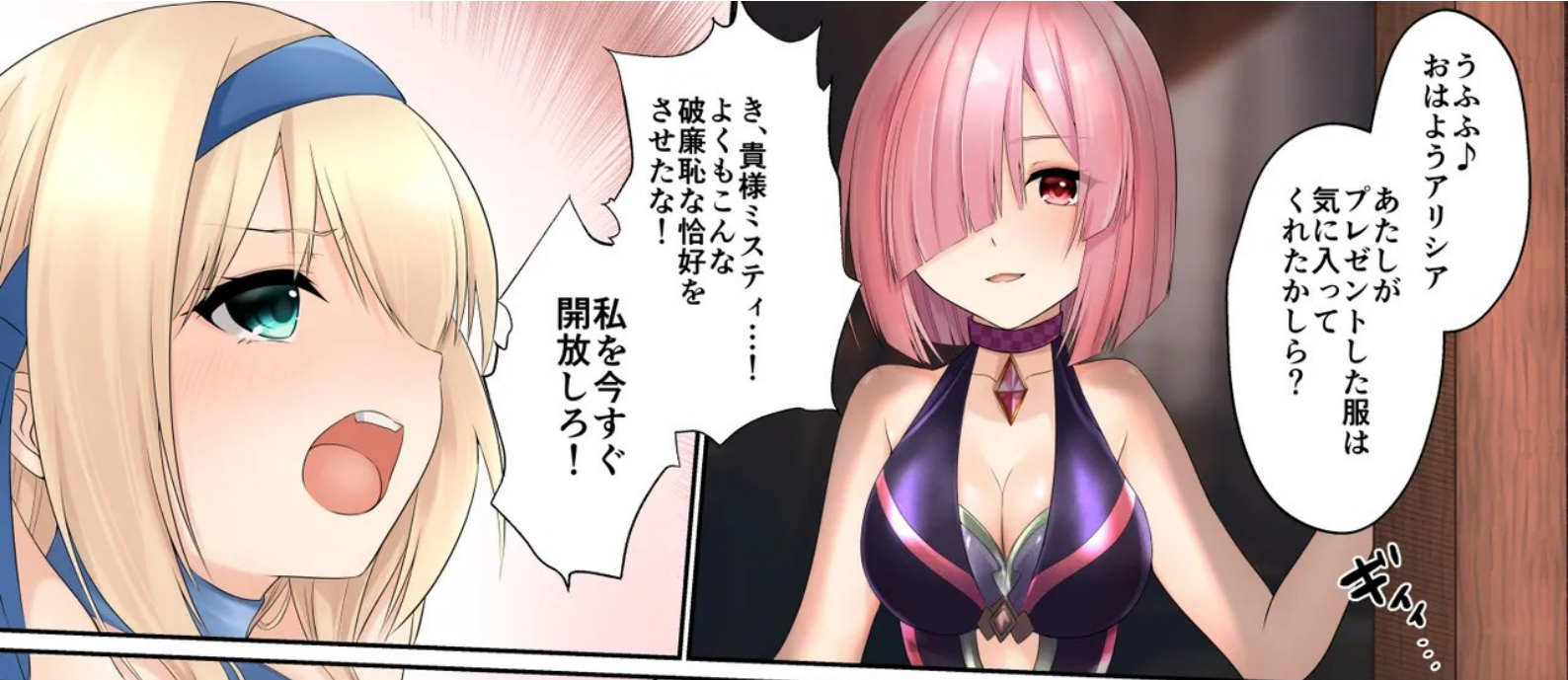
何故こんな恰好を  
しているんだ!?

はっ...

ぐんぐん...

か、身体が動かない...!  
まさかこの服の  
せいなのか...?





うふふ♪  
おはようアリシア

あたしが  
プレゼントした服は  
気に入って  
くれたかしら？

ギム...

き、貴様ミステイ...!!  
よくもこんな  
破廉恥な恰好を  
させたな!

私を今すぐ  
開放しろ!



あらあら  
それが人に  
ものを頼む態度?

まあいいわ  
プライドの高い  
あなたがどう変わるのか  
見てみたいしね

ふう...

なんだと...!

ふふっ♪  
ちよつとだけ  
ネタバラしをするね

ひゅっ

それは  
淫魔の拘束服っていうの  
サキュバスが  
新米淫魔を  
育てる時に着せる服よ



この服を着るとね  
えっちなことを  
する以外に  
身体が動かせなく  
なっちゃうの

つまり今のあなたは  
えっちなことを  
する以外の  
選択肢がないわけ

んふうっ

しゅっ

ふふっ



そ、そんな...!

アリシアの  
気に入った

アリシアのこと  
気に入っちゃったの

あたしたち  
身体の相性ばっちりよ  
絶対あたしのものに  
したいわ♥

アリシアのこと  
気に入っちゃったの

あたしたち  
身体の相性ばっちりよ  
絶対あたしのものに  
したいわ♥

うふふ♪  
あたしは  
盗賊姫ミステイよ

あたしに盗めないものなんてないわ  
これからあなたのハートを奪ってあげる♥

4-14-12  
C. R. R.  
P. R.

だ、だれが  
貴様のものになんか…！

うあ…  
あっ  
あアあ！







そろそろ  
生えてくるわよ

ほらほら、  
クリトリスが  
むずむずして  
きたでしょう？

ふたなりっ…！



はあっ  
はあっ

貴様  
なにをした!?

ふふっ  
もう知っている  
でしょう？

ふたなり魔法を  
あなたにプレゼント  
してあげたわ



だ、駄目…  
引きずり  
出される…！

あ…っ  
くう…  
ああ…ッ！



うあああああああ！

みち  
みち





はい、上手に勃起できたわね♪

すっごい立派なおちんぽよ♡  
アリシア

い、嫌あ！  
こんなの嫌だっ  
私の身体に  
こんな…！！

こんなの絶対に許せない  
絶対にもどせ！



あらそんなつれないこと  
いわないで？

はあう！



あふっ  
はえ…♡

気持ちいいでしょう？  
このふたなりは特別よ

男性器の感度  
100倍だから  
触られるだけで  
気持ち良すぎて  
堪らないでしょ♪

うあ…  
ああ…  
や…あッ  
ふはあん♡

すりっ  
すりっ









うあああああああああつっ♡♡♡



き、きもちいい…  
射精ってこんなに  
気持ちいいんだ…

はー…

はー…



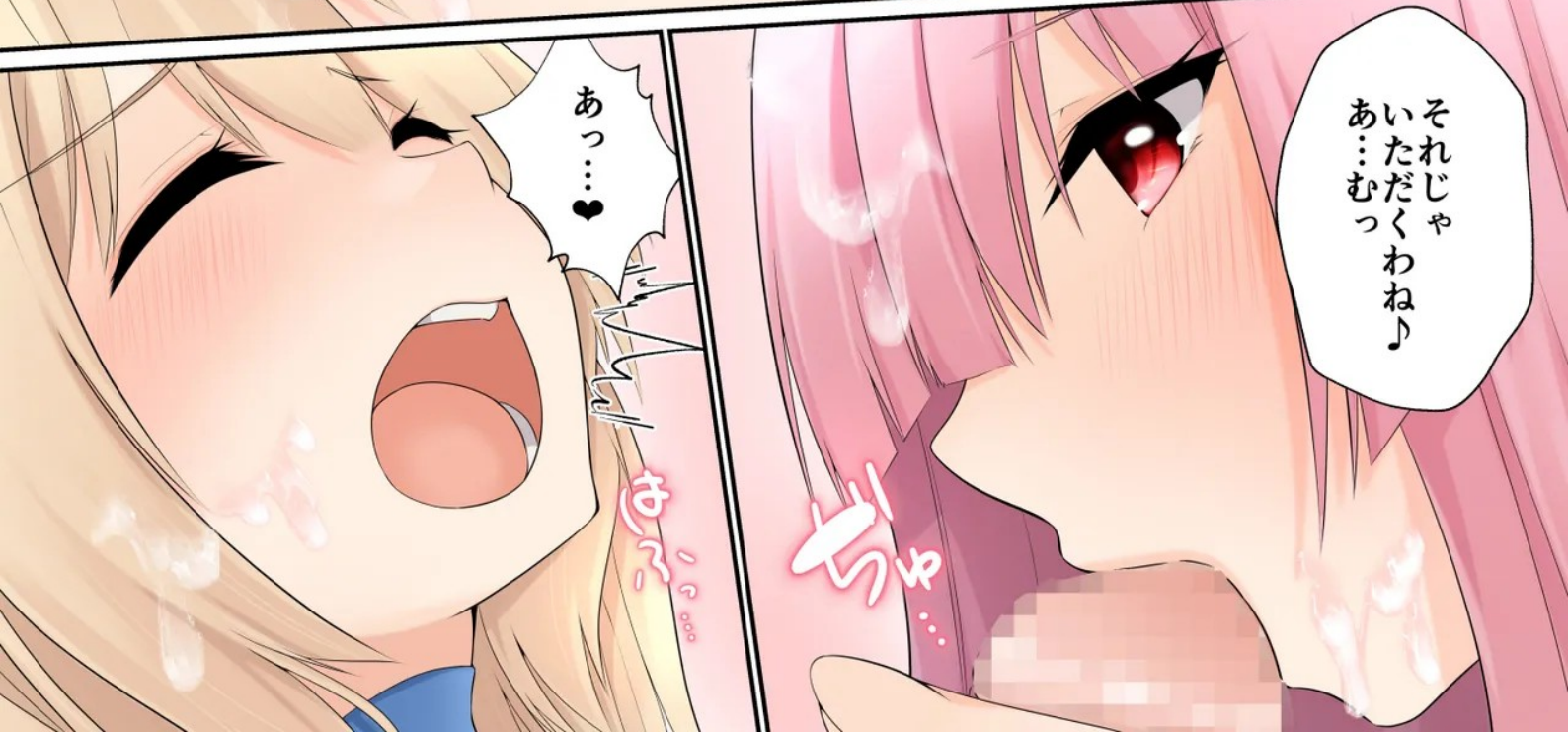
大噴射ね  
アリシアのえっち♪  
ベタベタに  
なっちゃったわ

はあっ…  
はう…  
ふう…♡

へっ









あんツ…  
うッ…

うう…っ  
口の中ぬるぬるで…  
こんな深くまで…っ

や…  
あ…  
もう…  
射精ちや…  
うッ

ちよ…  
待って…  
うあ…っ

ミステイの舌が…  
やらしく  
絡みついてくる…っ

駄目っ  
我慢できない…っ

ん…ふっ

まだ射精しちゃダメよ  
お楽しみは  
ここからなんだから♪

すー

ふん

れろ

め



いっぱい悶えてね  
アリシア♥

う…  
ああ…♥

ぎゅ  
むっ  
ずっ

な…に…  
これ…  
ああん♥

びゅ

はあ…  
う…っ♥

ダメよ  
まだ挟んだだけ  
この程度で音を  
あげたりしたら

あたしのおマンコに  
入れられないわよ？

おっぱいなのに  
ぬるぬるで…

ふたなりがパイ圧で  
締め付けられて  
気持ちいい…♥

ふいふい

むっ

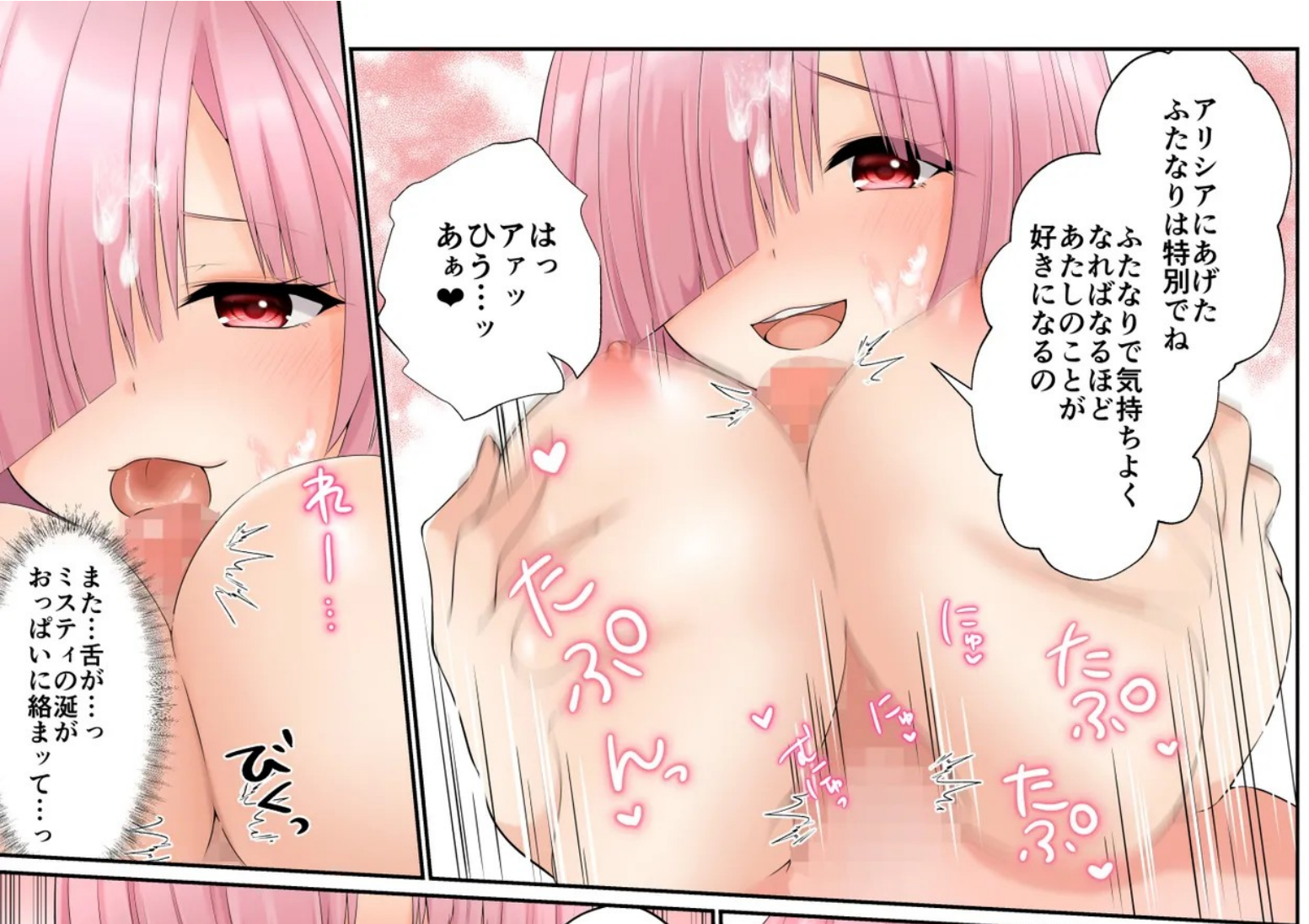
むっ

むっ

むっ

むっ





アリシアにあげた  
ふたなりは特別だね

ふたなりで気持ちよく  
なればなるほど  
あたしのことが  
好きになるの

はっ  
アッ  
ひア  
あう…  
♡ ツ

れー…

たふふ  
んっ

たふふ  
たふふ

また…舌が…っ  
ミステイの涎が  
おっぱいに絡まッて…っ

びく



どんな時でも  
あたしを最優先に  
するのよ？

あああ  
お姉さま  
もう…っ  
ダメエ…ッ！

はう  
あう  
♡



射精  
ちやうう…っ



アリシア  
今日からあたしのことは  
お姉さまと呼びなさい

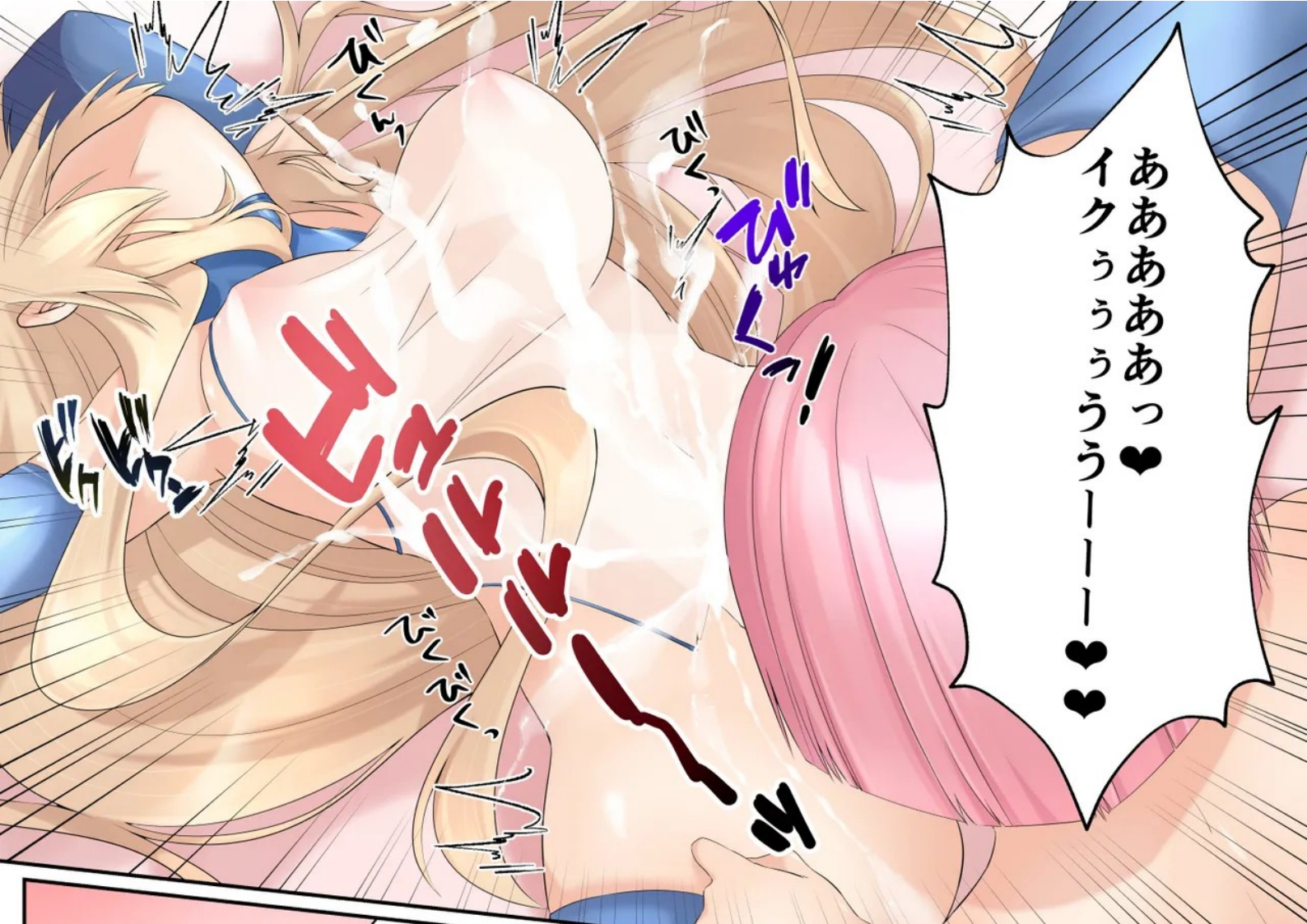
ぬちゅ

ぬちゅ

びく

びく





あああああっ♡  
イクううううー♡♡



あ、ああっ  
お姉さま  
全部飲んでくれている♡

なんて優しいの  
ミスティお姉さま♡

いっぱい出して  
偉いわよ

もうあたしも  
我慢できなく  
なってきた♪

びく  
はー  
はー

はー  
はー

びく  
びく  
びく

はー  
はー



見て…  
んっ…  
さっきから  
挿入れて欲しくて  
堪らないの

くはあ

アリシア：  
あたしのおマンコを  
ガバガバに犯して？  
あなたの精子が  
欲しくて  
堪らないの…

ああ…  
お姉さまが  
誘っている…

ひひ

はあ…

お姉さまのおマンコ  
愛液でドロドロで  
中に飲まれちゃいそう

んっっ♡  
そうっ…  
そこっ…  
ゆっくり少しずつ  
そのまま奥に  
入って来て

ちゅ

しろお♡

ギョッ♡









あんツッ♥  
奥…ツッ♥♥  
すご…っ♥♥



お姉さま  
こんな  
リードしてくれてっ



私の全てで…  
お姉さまの愛に  
応えなきゃ…!!

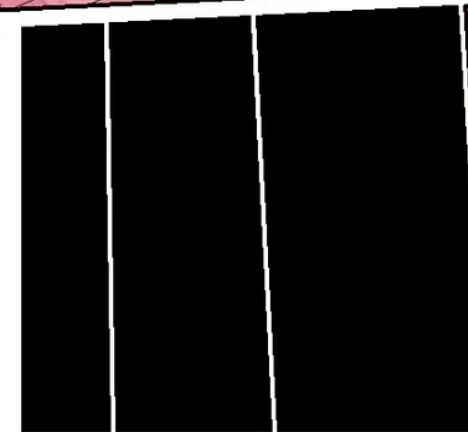


イッ♥  
くううううううう♥

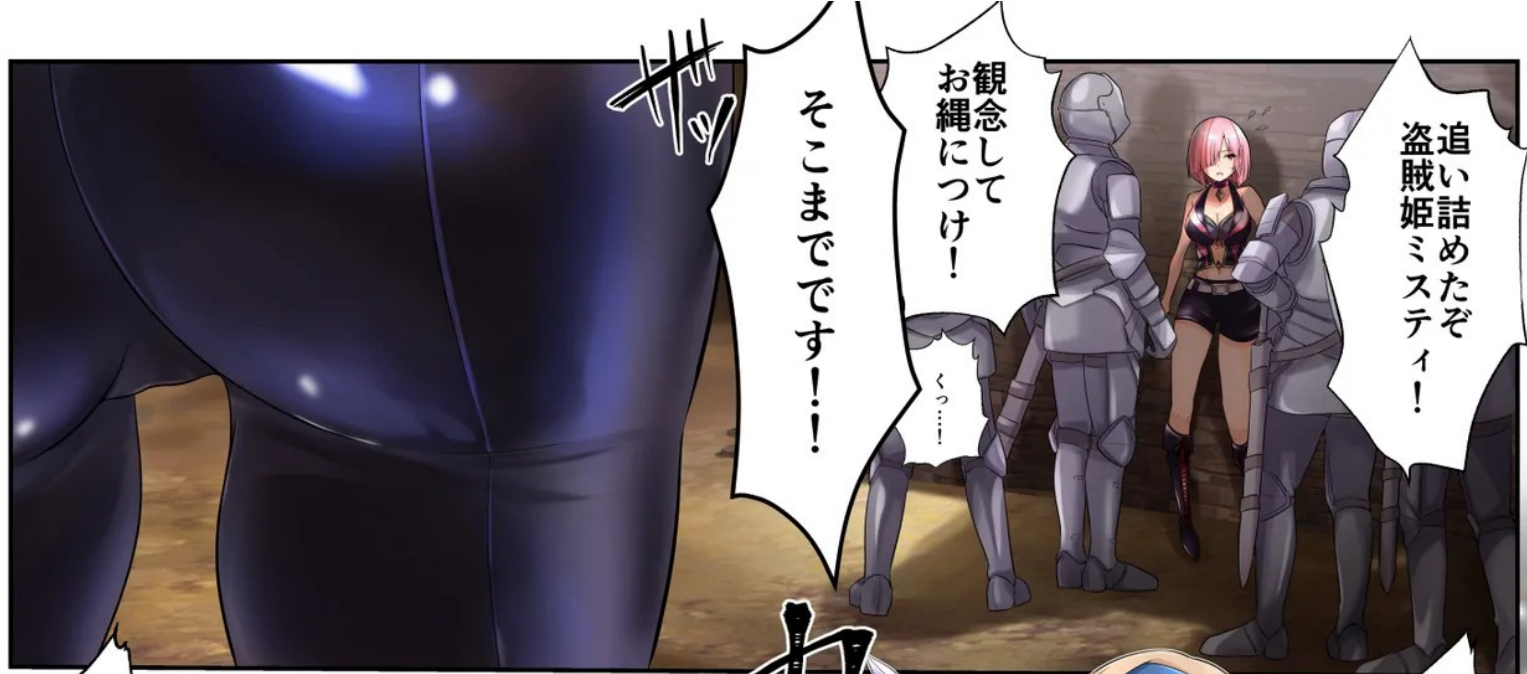
あああッ  
お姉さまあ  
しゅきいいいい♥

あッ♥

ああッ♥♥







追い詰めたぞ  
盗賊姫ミステイ!

観念して  
お縄につけ!

くっ……!

そこまでです……!

お姉さまの  
邪魔をするものは……

カ  
タ  
ン

カ  
タ  
ン

ぎゃああああ



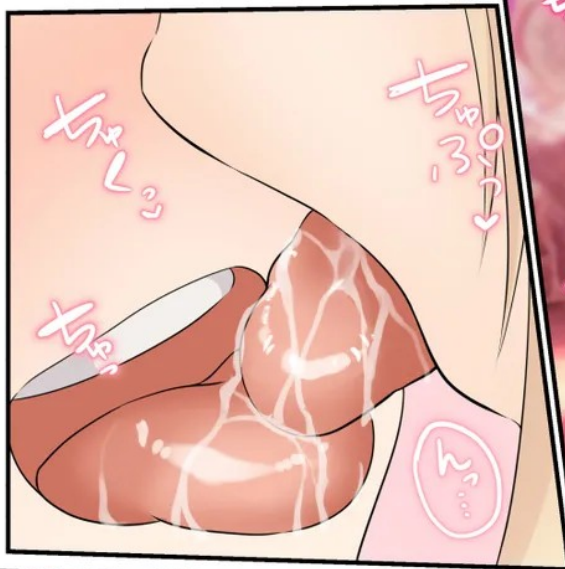
さあ、お姉さま  
今のうちです!

ありがとう  
アリシア……!

この盗賊騎士アリシアが  
許しません!

ス  
ッ





あたしと  
アリシアが組めば  
盗めない財宝は  
ないわ

あたしたちは  
無敵よ

はい♥  
お姉さまの  
お役に立て  
て  
アリシアも  
嬉しいです♥

ギョ



アリシアに特別な  
ご褒美が  
欲しいです……♥



あ、でもでもお  
今日はいっぱい  
頑張ったからあ……







**R-18**  
ADULT ONLY

# 姫騎士アリシアの受難

催眠姫騎士は  
逆バニーでご奉仕します——

PRESENTED BY

聖華快樂書店

STORY BY エルトリア

ART BY らんくちゃん COVER ILLUSTRATION brick







ここはいい街だな

街並みは美しく  
治安もいい  
我が国も手本と  
したいほどだ

アリシアは任務で他国の都市を訪れていた  
そして仕事も一段落ついた  
屋下がりのこと……

がチャミ





これはこれは騎士様  
当店にお越し頂き光栄でございます



カランッ  
カランッ



もちろんです

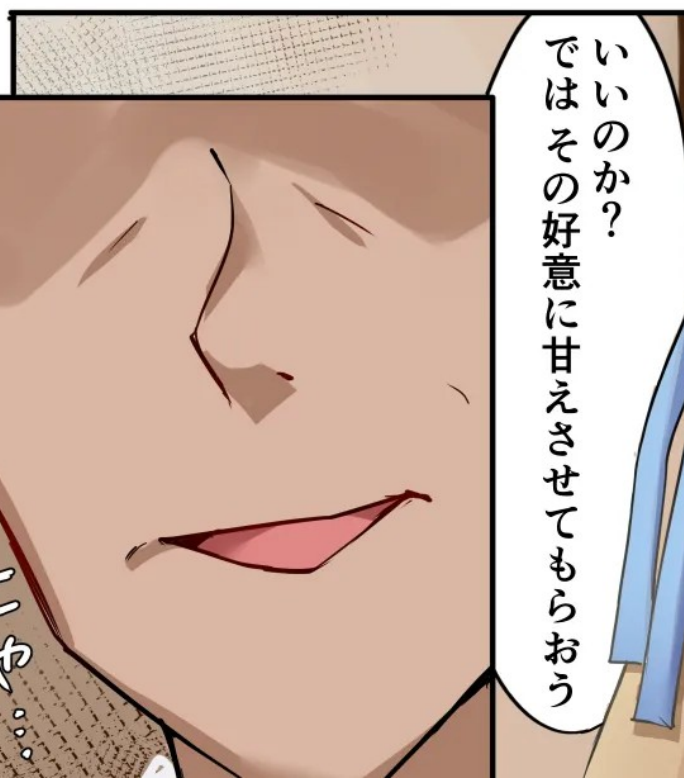
ただいま奥の個室が  
空いておりますので  
どうぞお使い下さい

さぞお疲れの事でしょう



そうかしこまらないでくれ  
私はただの客だ

一人の席は空いて  
いるだろうか？



いいのか？  
ではその好意に甘えさせてもらおう

にや...







この部屋は騎士様のようなお方にお使い頂くためのものですからすぐに紅茶を用意いたしますね



こんな立派な部屋  
本当にいいのか？



ありがとう  
めいっぱいくつろがせてもらうよ



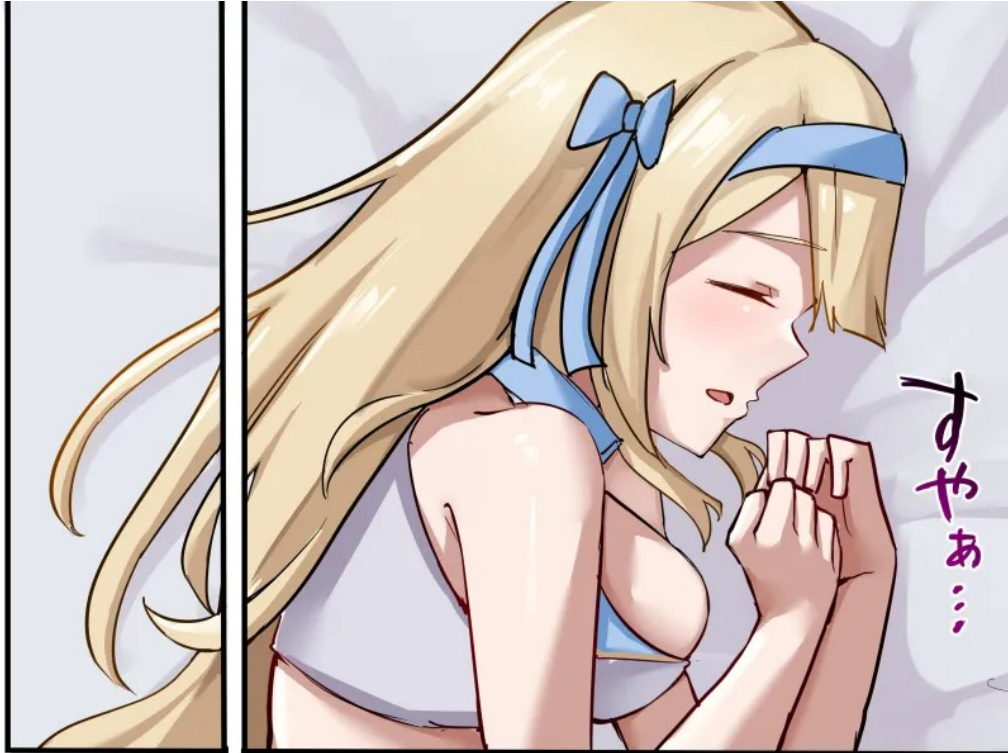
異国に来る仕事も  
初めてではないとはいえ  
やはり気疲れしてしまうものだな……



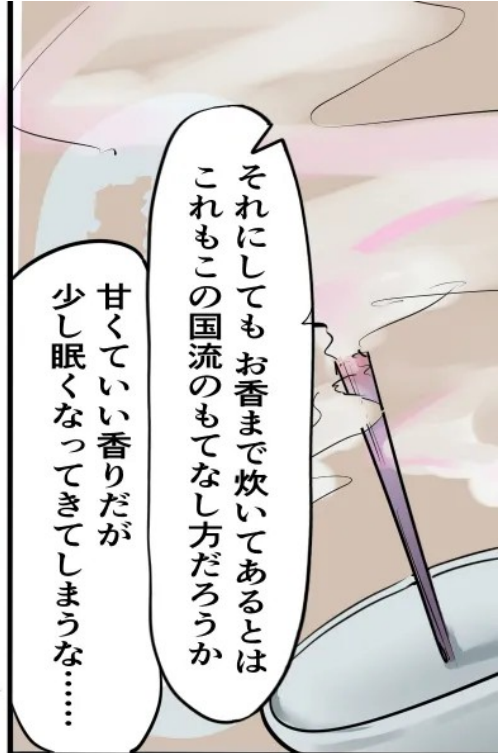
ふう……

ポフッ





すやあ……



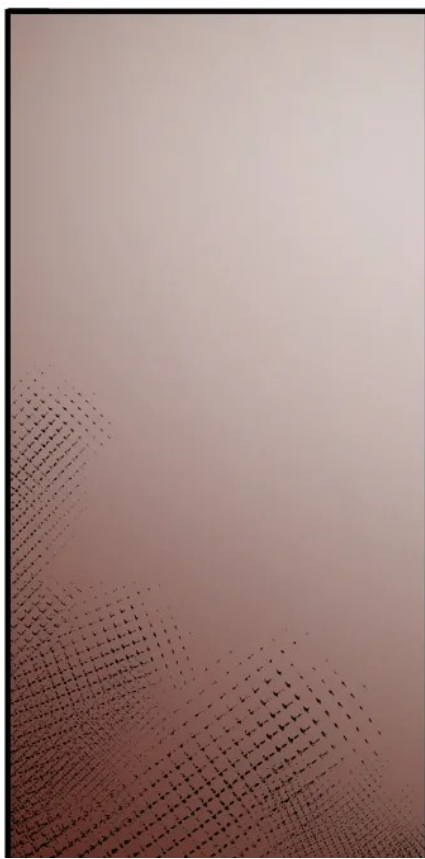
それにしてもお香まで炊いてあるとは  
これもこの国流のもてなし方だろうか

甘くていい香りだが  
少し眠くなってきてしまうな……



いけないいけない  
もうすぐ店長が  
お茶を持ってくるだろうに

寝顔を見られてしまったでは  
騎士失格だ



それにしても眠い……  
思った以上に  
疲れていたらしいな……

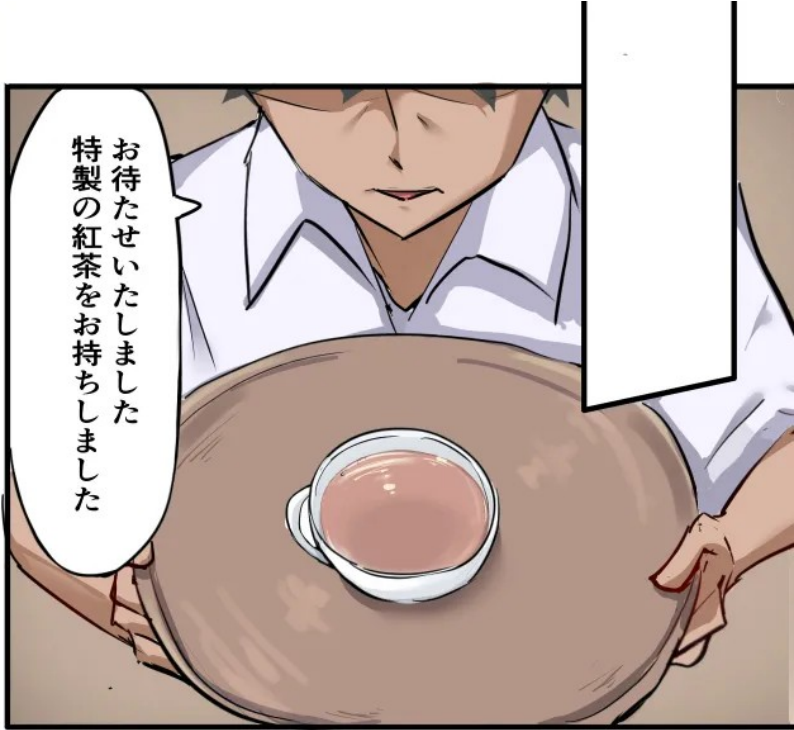




随分長いこと  
寝てしまった気がする...



あ...ああ  
ありがとう



お待たせいたしました  
特製の紅茶をお持ちしました



いい香りだ...  
お香もそうだが  
この国では  
香りという  
文化を大切に  
しているのか?



精神にも作用しますから



ええ  
香りというものは  
とても大切に

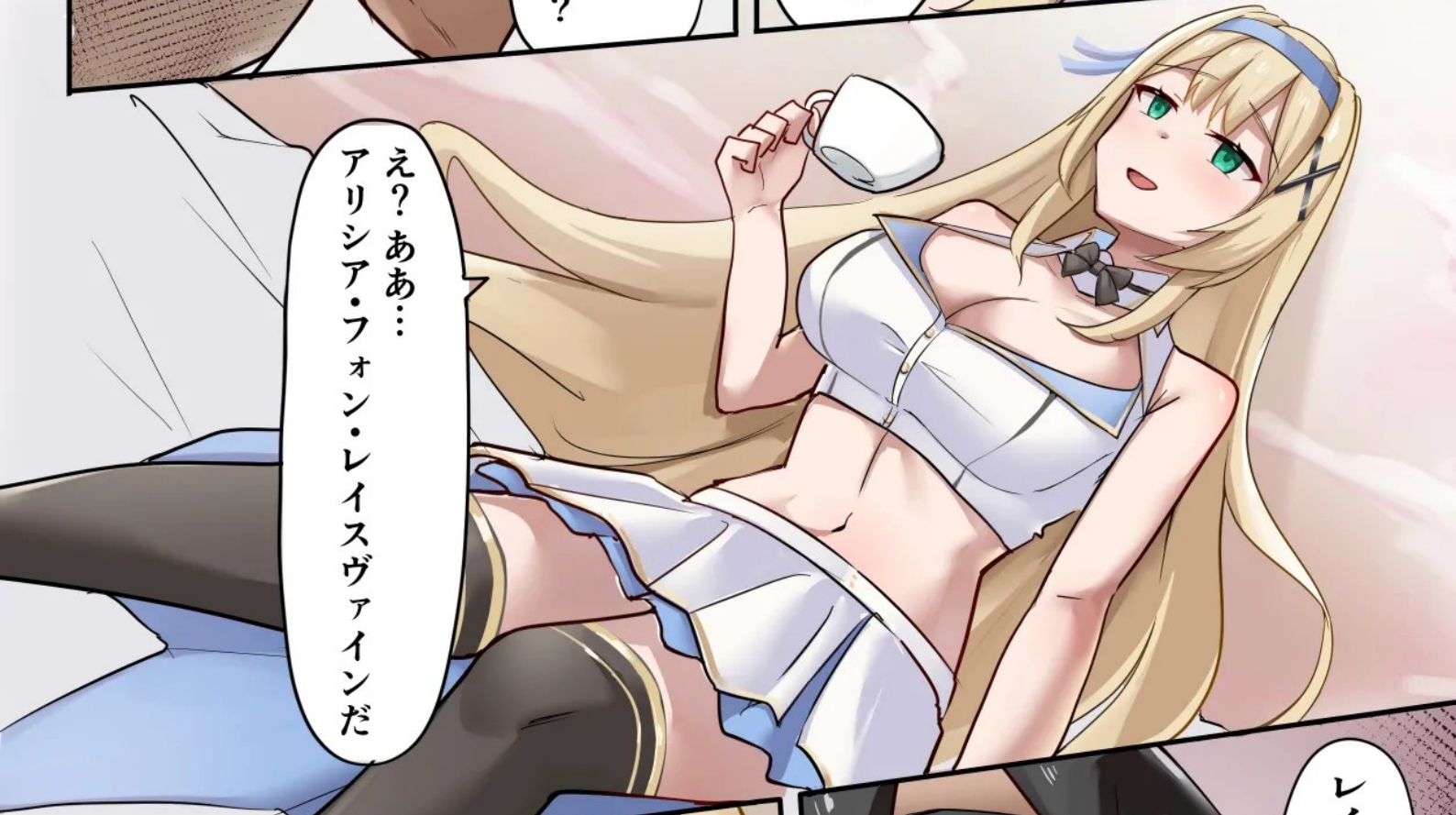




ああもちろんだ  
こんなにも素晴らしいお茶にお香  
自国に持ち帰りたいぐらいだ



それはそれはところで  
騎士様のお名前は  
なんと言うのでしょうか？



え？ ああ…  
アリシア・フォン・レイスヴァインだ



レイスヴァイン？

もしや噂に聞く  
レイスヴァイン王国の  
姫君ですか！？



その通り  
あまり姫だからと  
特別扱いは  
されたくないのだが……

















そうなの…か……？  
それなら仕方ない  
か……？



この国ではキスぐらい  
誰でもします  
何もおかしいことではありません



本当にこれが常識なんだろうか？  
何かおかしい気がする……

でも店長がこう言うのだし  
それが正しいのだろう……





さ…姫様  
ベッドに横になられて下さい  
お代のお支払いはまだですよ



何をおっしゃいます  
体で払うとはセックスをするという事  
今までのはその前戯ですよ

えっ……?  
もう十分触っただろう?



そうか…  
なら仕方ないな



店長がこう言ってるんだ  
何もおかしくはない  
それに従わなければならない



ところで姫様  
初エッチはお済みですか？

いや経験はない  
優しくして  
もらえないだろうか？

ええもちろんです

私に全て  
お任せくださいっ！

ぴとっ...

いっ...

おお姫様  
素晴らしい締付けです！

初めてなのに  
もう感じておられるのですか？

んっ...

んっ...!?

あっ...あっ! おかしっ...!!  
痛い...はずなのに  
気持ちよくてっ...!!

ズッ...

ズッ...

ひゅんっ...

ズッ...



最高ですよ姫様！  
体がエロいだけでなく  
セックスまでお上手とは！

ああああああんっ！  
気持ちいいっ……！

何これ知らないっ……！  
気持ちいいのぉっ……！

んっ……

パンッ

パンッ

あんっ……

姫様……いやアリシア  
君は私に借金をしているんだ

フッ

フッ

フッ

それを返済するまで  
帰れない事は  
もちろん覚えていたよなっ？

お前は店の高価な食器を割ってしまったんだ  
それを返済するまで国には帰れない  
わかったな？

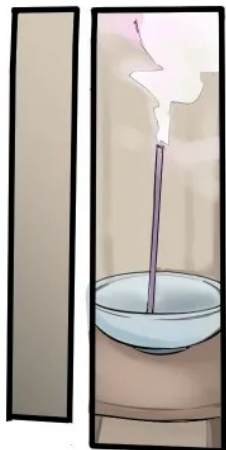
あっ……

えっ……？

なんの……ことッ……！？

んおッ









いらっしやいませー！

アリシアちゃん  
今日も可愛いねー！  
エロい！

もうっ  
可愛いだけで十分ですよ

それから私はこのお店で働いている  
私には借金があり  
それを返すまでは国に帰れないから

何か忘れてる気もするけど  
店長に迷惑をかけた分  
きちんとそれを体で返済しないと





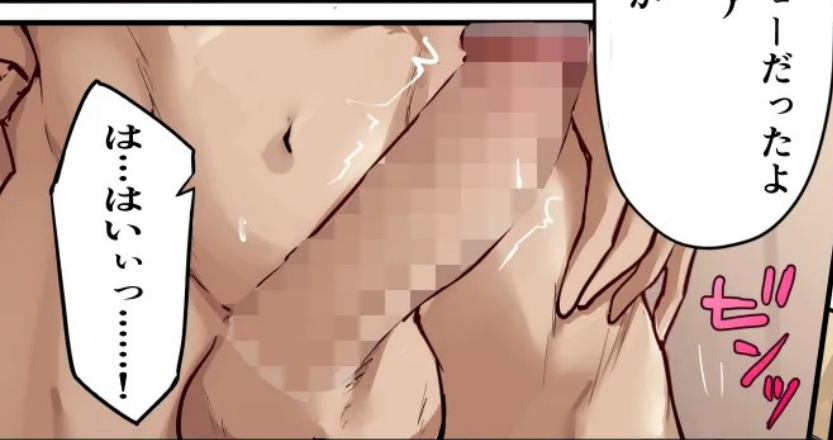




最高のオナニーショーだったよ  
それじゃあアリシア  
今日も借金を  
返済してもらおうか



はあ  
はあ...  
はあっ.....!  
いかがでしたか?



は...はいっ.....!



れ  
ろ  
お  
...  
♡

よしよし  
アリシア  
すっかりフェラ  
も上手くなったな



は  
あ  
っ



♡  
じ  
ゅ  
ぽ  
ん  
♡  
♡  
じ  
ゅ  
ぽ  
ん  
♡









うっ……くううっ!  
出るぞ  
アリシアっ……!!

ふ  
あああ  
あっ……!!



はい……  
ありがとうございます……!!



ふうっ……本当に  
お前のデカパイは優秀だな  
最高の精液搾りおっぱいだ





アリシアが  
エッチなのが  
いけないんだ







アリシア  
お前は俺に買われた  
性奴隷だわかるな?

はいご主人様  
アリシアを購入して頂き  
ありがとうございます

こらアリシア  
命令もなく寝るんじゃない  
ここはお前の調教部屋なんだ  
自分で綺麗に片付けろよ

は…はいっ……  
ご主人様……!



今日も私は  
ご主人様に調教を  
していただく日々

ご主人様

今日も調教  
よろしくお願い  
いたします♪

よいいぞ  
アリシア

そのままいやらしく  
腰を振るんだ  
男を誘うようにな

私はご主人様に  
買って頂けた性奴隷だから

ご主人様に満足して  
頂くことだけが  
私の生きる意味

時々なんだか違和感の  
ようなものを感じるけど

私に性奴隷以外の  
過去なんて  
ないはずなのに

お…おひりいいんっ！  
ぎもぢいいのおおおっ……！

そんなにアナルが  
気持ちいいのか？  
この変態め

んひひひひっ

わっ

わっ









はぁぁぁんっ!!

キモチおすぎてるえ

頭おかじくなるっ……!!  
頭焼き切れちゃいますぅうううううっ!

いいぞそれでいいんだ!  
性奴隷に考える頭なんて  
いらなからな!



はぁぁぁんっ!  
最高……  
ですううっ……

はぁ……

はぁ……

ここまでアナルで  
イけるように  
なるとは

お前にはやはり  
性奴隷としての  
才能があるな

あ……ありがとう  
ございます  
ご主人様……!!

アリシア  
お前は俺に  
性奴隷として  
調教を受けて  
嬉しいのか?

はいっ……!!

アリシアはご主人様に  
M 奴隷として育てて頂いて  
とっても嬉しいです♪



よしよし  
本当にお前は優秀な奴隷だ  
褒めてやろう

ご主人様  
ありがとうございます！  
アリシアとっても  
嬉しいです……！

あっ ああっ……

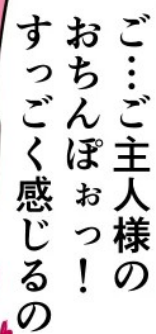
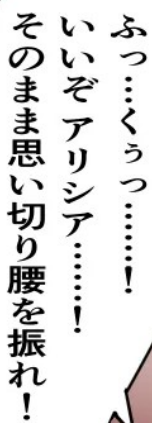
ど……どうしましょうご主人様  
私ご主人様が  
愛おしくてたまらないんです……！

どこか心の内にあった違和感は  
完全になくなっていて  
私はご主人様に  
お仕えできる喜びに  
打ち震えていました

いいぞたまにはお前から  
セックスすることを許してやる  
俺を気持ちよくさせてみる  
アリシア

ご主人様にご奉仕できるのが  
何よりも嬉しい……！









あああんっ！

おっぱいいいっ！  
ぎゅってするの  
好きですううっ！

おっぱいの  
調教も完了だな

お前はもう全身が性器で  
性処理の道具だ  
その自覚はあるな？

はいっ  
アリシアのこと  
どうか末永くっ…

お好きなようにお使い下さいっ…！  
ご主人様あっ♡

俺が丹精込めて育てた  
性奴隷だからな

安心しろお前のことは一生  
使い続けてやる

ありがとうございます  
ご主人様っ……！





そろそろ出るぞ!

ぽんっ

ぽんっ

ふぁあぁあぁんっ!!

あっつい精液

あああぁんっ!!

あっつい精液

あああぁんっ!!







こうして私はご主人様のお言葉通りに  
来る日も来る日もご主人様の  
性処理の道具として使っていただいています

ご主人様っ♡

いかがでしょうか  
アリスアの  
ご主人様専用  
おっぱいは♪

アッ

アッ

最高だ

すっかりパイズリも  
上手くなったな  
さすがは自慢の  
性処理奴隷だ

ありがとうございます♪  
たくさん濃厚な精液  
お出し下さいね♪

これからずっと  
ご主人様の  
性奴隷として  
生き続けたいです♪

ご主人様と毎日  
気持ちいいことが  
できる私はなんて  
幸せなのでしょう



R-18  
ADULT ONLY

# 姫騎士アリシアの受難

えっちな魔の者は

姫騎士を調教したい

PRESENTED BY  
聖華快樂書店

STORY BY エルトリア

ART BY でゆう COVER ILLUSTRATION かめかめ



……これは……  
一体……？

カッ……

カッ……

普通に森を  
歩いていた  
はずなのに……

カッ……



グ……

なににせよ……

空間転移か  
幻覚か……

気づいたら……

……え？

何者かに仕掛け  
られている……！

チャ……





あなた…

…あら？

っ  
!!



…いらっしやい



……？

珍しいわね…



少し変わった  
気配…

もしかして  
違う世界のコ  
かしら…？



別の女のコを  
狙っていたのだけど…

嬉しい誤算だわ…

私はカディラ

たっぷり  
もてなして  
あげる…♡



初めて見る…  
…魔物…？

不思議な感じ…

ひた…

ひた…

敵意も殺意も…  
特別な力も感じない…

外見以外は普通の  
人間みたい…

動きも無防備で  
隙だらけ…

簡単に斬り  
伏せられる…

はずなのに…

それ以上  
近づかないで…っ

ひた…

へえ…

…なぜか  
倒せる気がしない…

出会って間もないのに  
すでに色々と  
見抜いているのね…

可愛いだけ  
じゃない…

ずいぶんと強くて  
聡い騎士さんね…

素敵…♡





…悪意がないなら  
私をここから出して  
くれないかしら？

…だから余計に  
不気味なのよ…



でもそれなら

私に悪意がないことも  
わかるでしょう？

そこまで  
警戒しなくて  
いいじゃない？



！

ひた…

それはイヤ♥

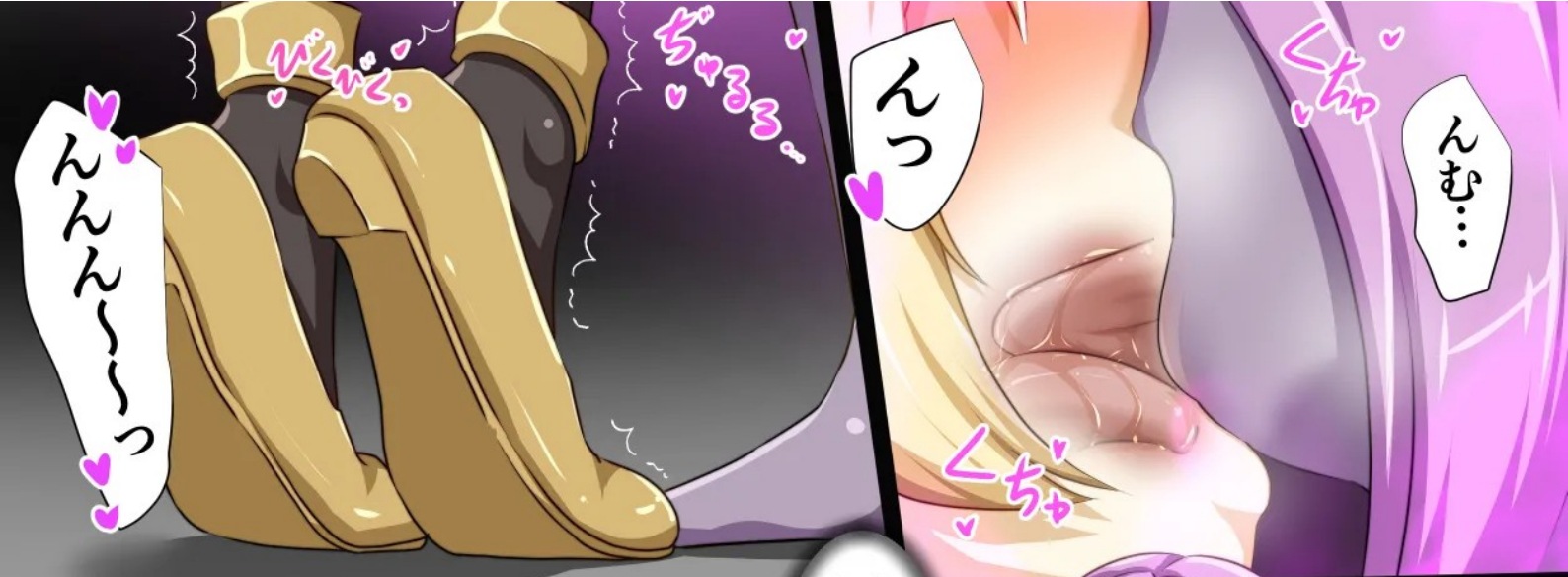
ふふ…っ













私たちは「魔の者」と呼ばれていてね…

通常の攻撃や魔法はほとんど効かないの

しゅう…

再生…!?

だから傷をつけられただけでもすごいわ…

はち  
はち

特に私は魔の者の中でも最上位種

普通の人間では私は絶対に倒せない…

私の知る限り私を倒せるのは

1人だけ…♥

無害なあなたに悪意なんて抱きようがないわ…

ただほんの少しあなたで遊びたいだけなのよ…♥

とろ…

ふん

かっ  
かっ





あなたは

オモチャ♡

理解できたかしら？

.....っ！

あ  
でも心配しないで

壊れないように  
丁寧に扱ってあげる  
からね♡

なめるなっ!!

いや...

オヤツの方が  
的確かしら...

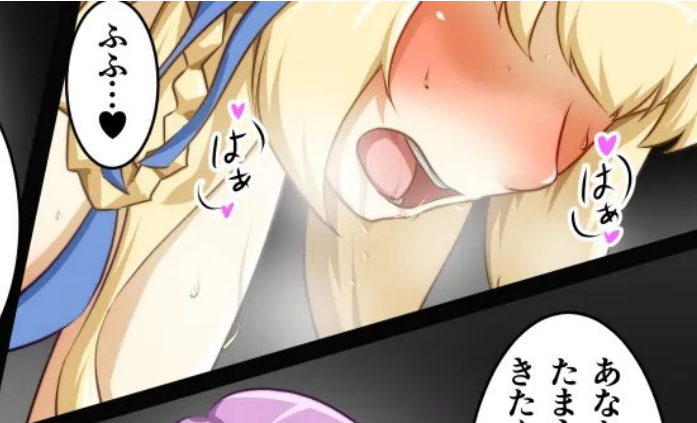






興奮しちゃう…♡

こうして服を  
脱がされるのは  
新鮮ね…



ふふ…♡

はぁ

はぁ



ふふ…

我慢は  
一番の毒よ

…黙れ…



素直に楽しみ  
ましょう？

ばさ

あなたも体が火照って  
たまらなくなつて  
きたんじゃない？



く…るなあ…っ

こっちの攻撃を  
お構いなしに  
突っ込んで来られたら…



くそ…っ

キスが  
足りなかった  
かしら…？

まだ元気ね…

あら…？



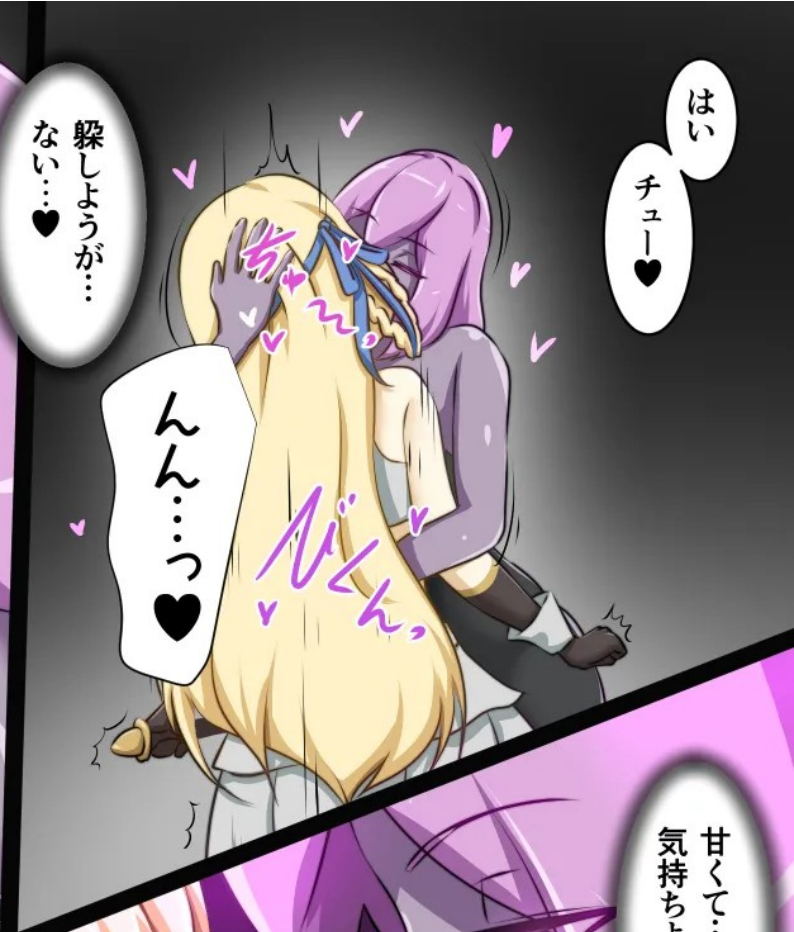


~~~~っ♡

コイツとのキス…

ダメなのに…っ

躲しようがない…♡



はい

チュー♡

んん…っ♡



甘くて…
気持ちよくて…

……っ♡

病みつきに…
なる…♡



…この程度で
私を屈服させた
気であるなんて…

…おめでたい…
わね…



ふふ…
捕まえた…♡

私の勝ちね…



あ…っ

まあ…
まだキスしか
していないものね…

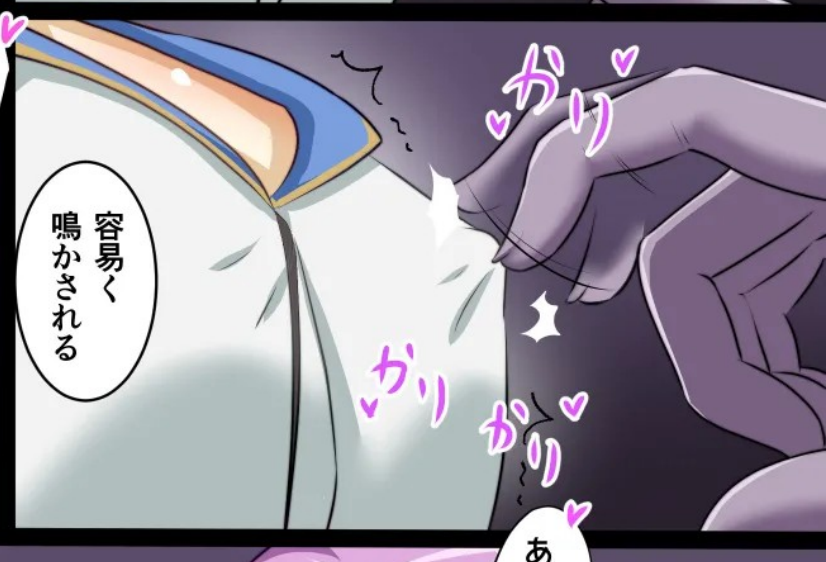
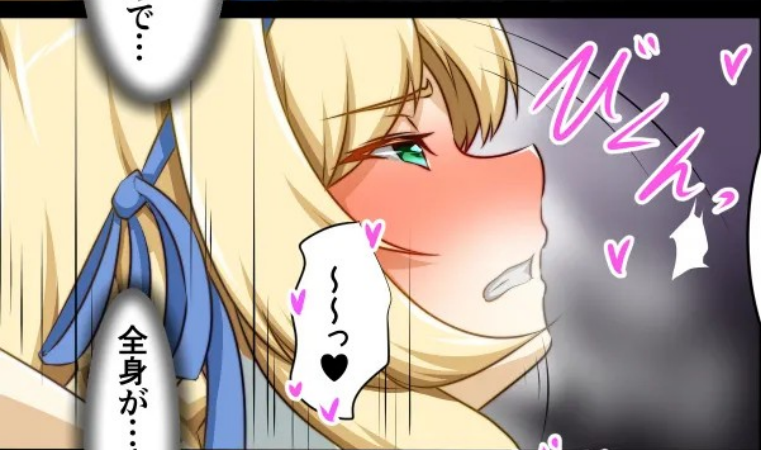
…自覚できて
いないのね…



今…あなたの体が
どんな状態なのか…

……っ

教えてあげる…♡









あ、
あなたのような
強く気高い女のコは…

んっ

ナカ…
すごい…♡

ん…お、

あ、

んあっ

やめ、

敗北を受け入れ
られずに
こう言い訳するの…

あ、あ、

「心までは屈していなこ」

ん…きこ…

こんなの…

…ってね



あ
あ
...

耐えられるわけ...っ♡

か
...

は
...

ガクン

ガク...

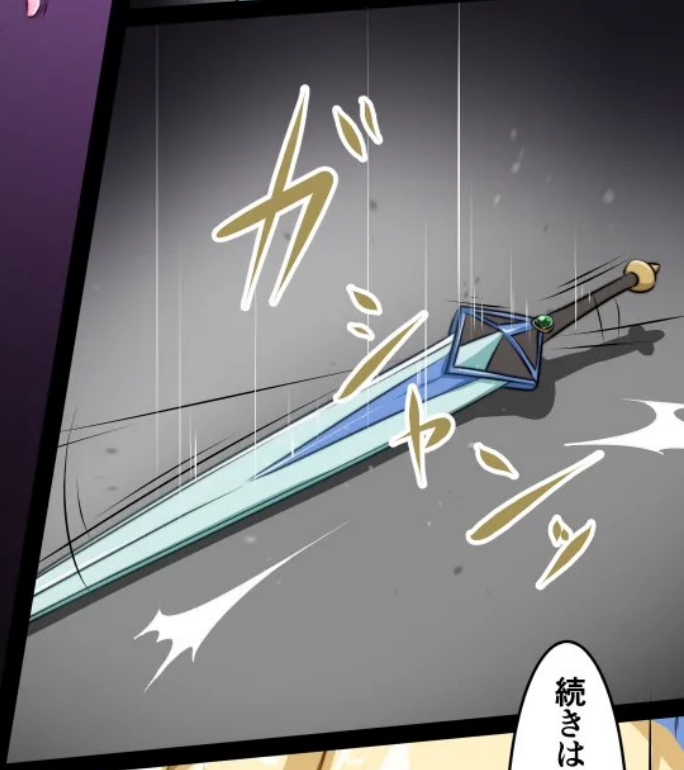


すぐに何も考えられ
なくなるくらい

快樂でとろとろに
蕩けさせて
あげるからね…♡



…でもそんなことは
どうでもいいの…



続きはベッドで…ね♡



…なんとか…

理性が…
残ってるうちに…っ



はやく…
逃げなきゃ…



自分でも
知らなかった
弱点まで

ひ…ああ…♡

あん♡

逃げるスキを探る
どこごろじゃない…♡

ん…♡

ふあ…あ♡

ちよ…ちよと…♡

ま…♡

もあ…♡

むり…♡

あ♡

や♡

だ♡

へは♡

へは♡

お…あ♡

探り当て
られて…♡

あ♡

ん…♡

び♡

ぐ♡

つ♡

つ♡

ぬ♡

に♡

れ♡

お♡

め♡





私…観察と分析が得意なのよ…

あなたの性感帯は全て把握したわ…♡



…あらに…

ホウ

……え？

っ!?

性感帯を付与することもできるのよ…

ずるん♡

もっともっと気持ちよくしてあげる…

あ、

男のヒトの...
しごかれるのって...

す...!

て...
く...
あ、

ちゃ、

あ、

あ、
そんな、
はげし

ちゃ、

あ、

が、が、

が、ん、

こんなに気持ち
いいの...!?

だ、め
な、い、か、

ん、る、る、ん、

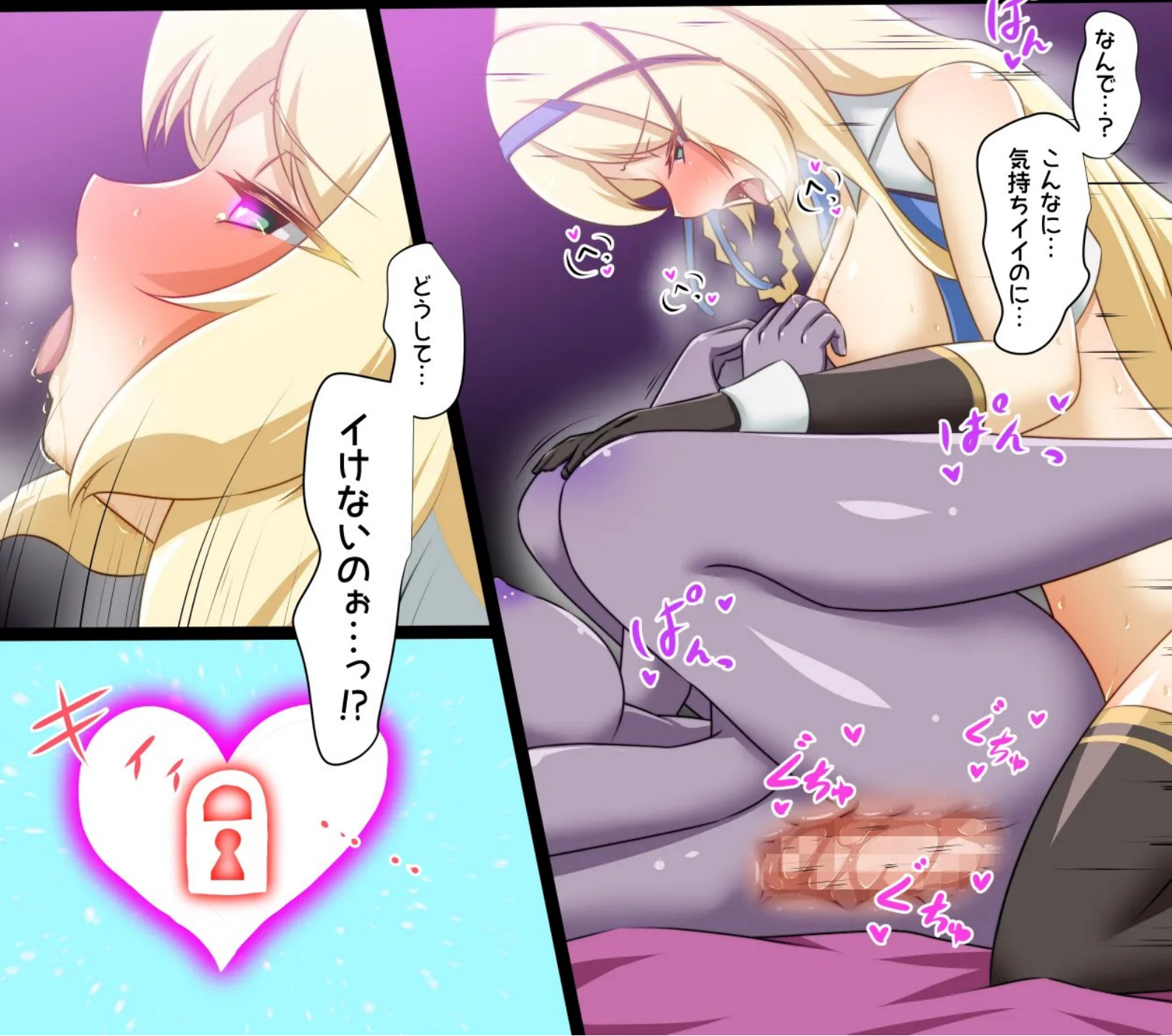
あ、

ん、

ん、









……びくびく……

もうイきたくない
って言ったのは……

あなたでしょう？

しゅる……



ぐめん……なやん……

ずっと辛いの……♡

おねがい……

イかせてえ……♡

イけないほうが……

へはあし……

へはあし……

びくびく……♡



…ワガママなコね…

でも…

まあ…

素直に
「ごめんなさい」は
言えたから…

許してあげる…♡

.....あはっ♡



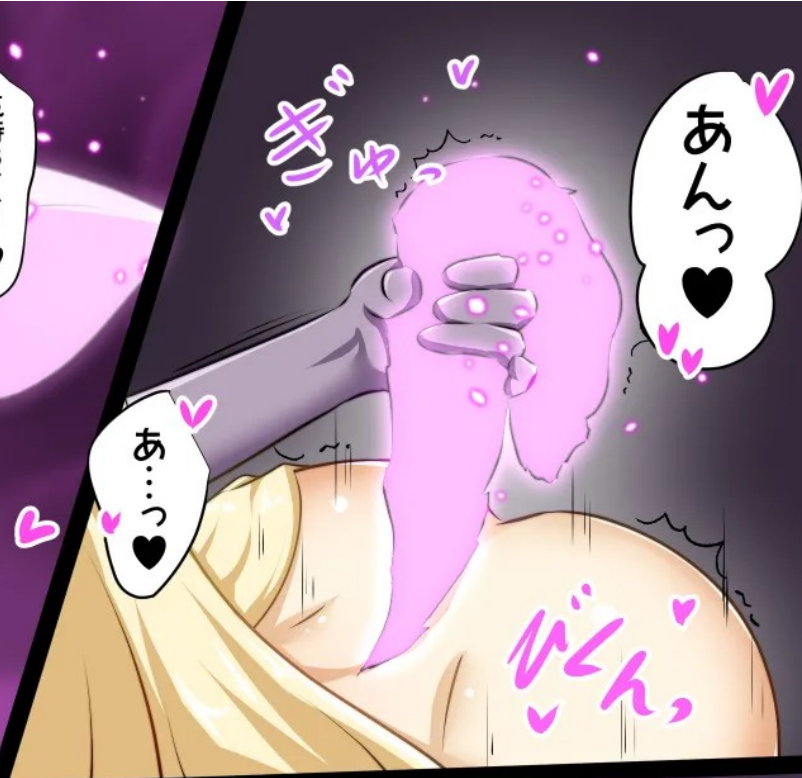


気持ちイイ…♡

もっとお…♡

はは

はは



あんっ♡

あ…っ♡

びん



少し味わったら
解放するつもり
だったのだけど…

ねえ…

はやっ…♡

…すっかり
懐いちゃったわね…

帰らなくても
いいのかしら…?

まあ…

あなたが望むなら
いくらでも
付き合うわ…♡

ふふっ…



しばらくは
退屈なさそう…♡

あ…っ♡

ちゅっ

んん

BAD? END



